

---

# 久米南町 地域公共交通計画

---

2021年3月  
岡山県久米南町  
(2024年1月一部改正)



# 目次

## 1. 計画の策定にあたって

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画の区域	1
4	計画の期間	1

## 2. 地域の現状等

1	地勢・地理	2
2	社会・経済状況	2

## 3. 上位・関連計画の整理

1	第5次久米南町振興計画（後期基本計画）	8
2	第2期久米南町創生総合戦略	8
3	その他の関連計画	9
4	久米南町地域公共交通網形成計画の事業実施及び目標達成状況	10

## 4. 地域旅客運送サービスの現状等

1	地域旅客運送サービスの整備状況	12
2	地域旅客運送サービスの利用状況	19
3	地域旅客運送サービス利用者の意向	24

## 5. 地域旅客運送サービスの役割と課題整理

1	地域旅客運送サービスの役割	28
2	地域旅客運送サービスの課題整理	30

## 6. 計画の基本的な方針と目標

1	課題への対応にあたっての基本的な方針	31
2	計画の目標	31

## 7. 目標達成のための施策・事業

## 8. 計画の達成状況の評価

1	計画の推進体制.....	38
2	目標、事業、数値指標及び目標値の一覧.....	38
3	計画の進捗管理と評価のスケジュール.....	39
4	クロスセクター効果の計測.....	40

# 1. 計画の策定にあたって

## 1 計画策定の趣旨

本町では、2015年3月に「久米南町地域公共交通網形成計画」（以下、「網形成計画」と呼びます）を策定し、デマンド交通の導入等により住民や来訪者の移動手段を確保し、まちづくりと連携した面的かつ持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組んできました。

このたび、網形成計画の期間が2020年3月で満了したことから、網形成計画に掲げる事業の進捗状況や目標の達成状況の検証を行い、本町を取り巻く社会環境の変化や課題、並びに「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」（以下、「活性化再生法」と呼びます）の改正法施行（2020年11月）に対応した「久米南町地域公共交通計画」を新たに策定するものです。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、活性化再生法に基づく法定計画であり、町の基本的な施策の方向性を示す「第5次久米南町振興計画（後期基本計画）」（2017年3月策定：計画期間5年間）、「第2期久米南町創生総合戦略」（2020年2月策定）及び「久米南町人口ビジョン」（2015年10月策定、2020年2月改訂）を上位計画とし、そのほかの関連計画等を踏まえ策定しています。

なお、本町においては、都市計画法に基づく都市計画区域の指定はありません。また、本計画の策定時点において、都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画、観光振興に関する計画、中心市街地活性化法に基づく基本計画やバリアフリー法に基づく基本構想の策定（予定を含む）もありません。



図表1 計画の位置づけ

## 3 計画の区域

計画の区域は、久米南町全域とします。

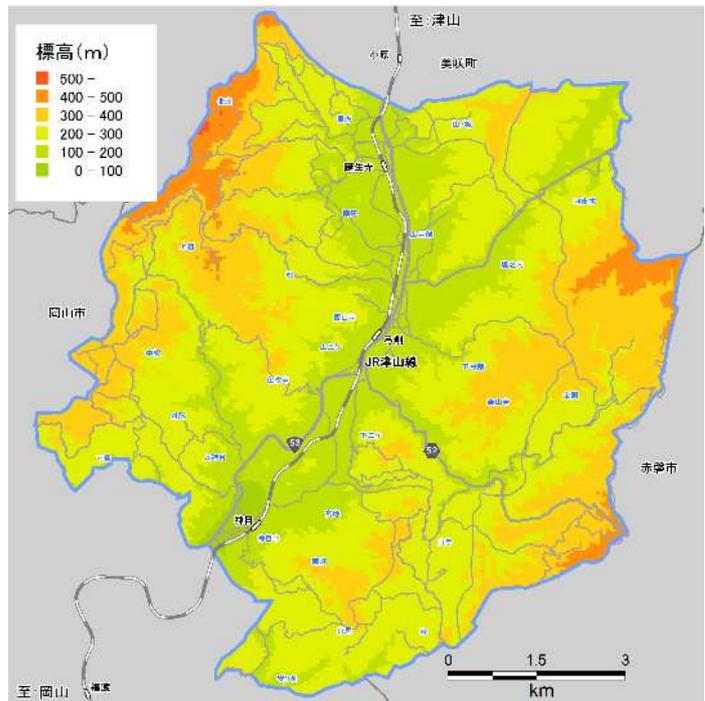
## 4 計画の期間

計画の期間は、2021年度から2025年度までの5年間とします。

## 2. 地域の現状等

### 1 地勢・地理

- 久米南町は岡山県の中央部やや東寄りに位置し、東は赤磐市と美咲町、西は岡山市と、南は岡山市と赤磐市、北は美咲町と隣接しています。
- 県庁所在地の岡山市とは約 40km、広域市町村圏の中核都市である津山市とは約 20km 離れており、町の中心部を南北に国道 53 号と JR 津山線が通っています。
- 総面積は 78.65 km<sup>2</sup> で、このうち可住地面積の割合は約 33% となっており、平地が少なく大半が丘陵地と山林になっています。

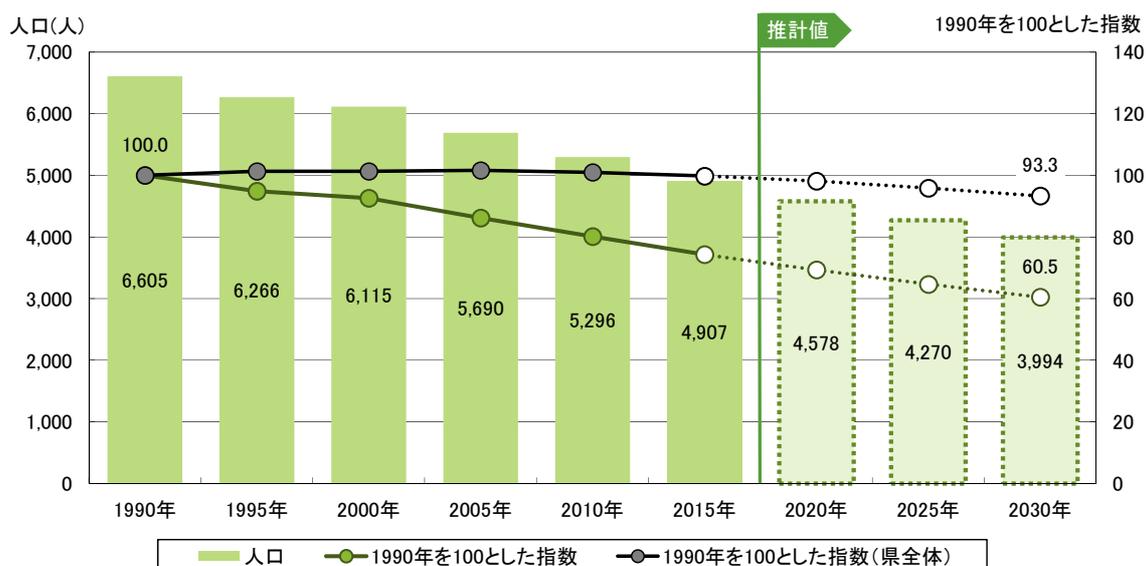


図表 2 地勢

### 2 社会・経済状況

#### (1) 人口の推移

- 2015 年国勢調査における人口は 4,907 人で、減少が続いています。
- 2030 年における推計人口は 3,994 人で、1990 年の 61% まで減少すると見込まれています。これは、岡山県全体の人口減少率の推計値を大きく上回っています。

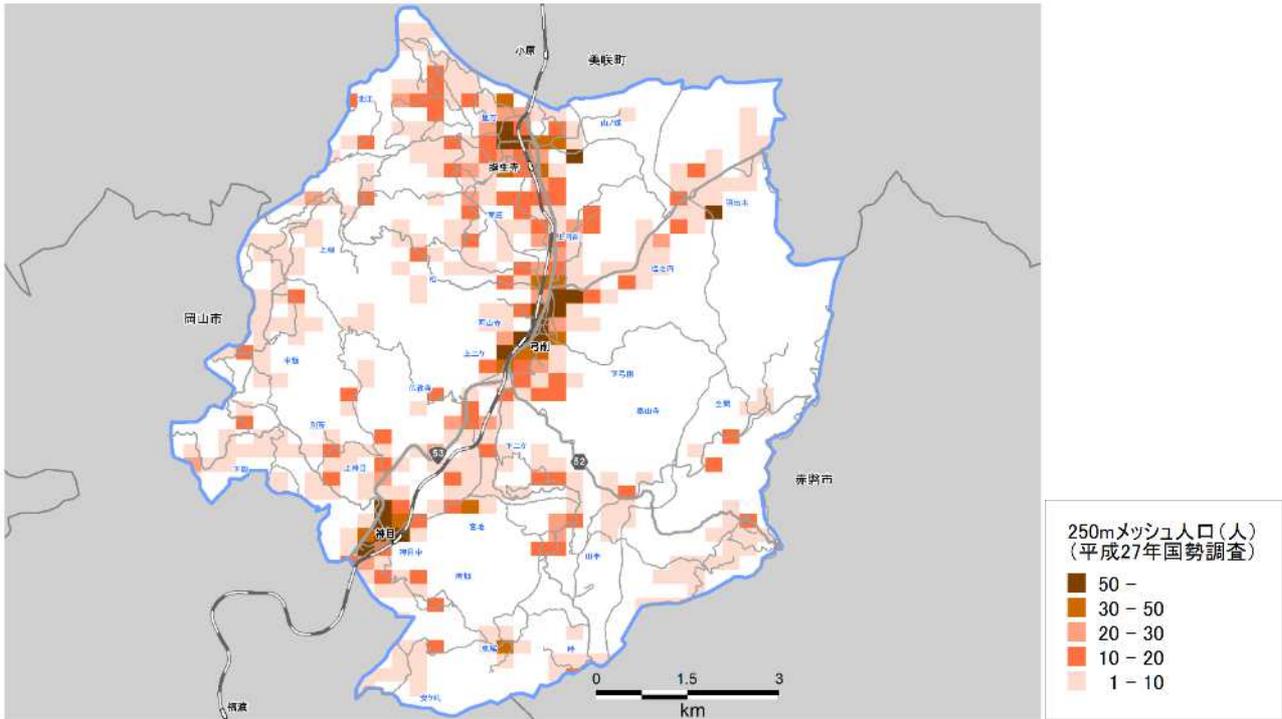


図表 3 国勢調査人口と推計人口

資料：国勢調査、久米南町の 2020 年以降…久米南町人口ビジョン  
 県全体の 2020 年以降…国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」(平成 30 年 12 月推計)

## (2) 人口分布

- 人口は国道や県道沿いを中心に広く分布しており、特に、弓削駅、神目駅及び誕生寺駅の周辺に集積がみられます。

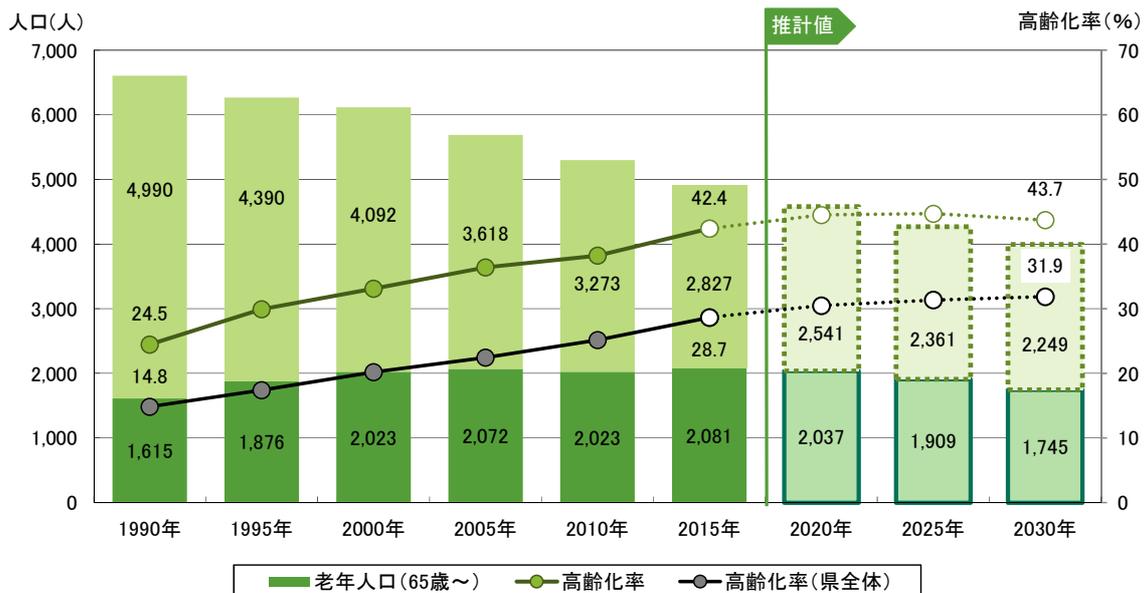


図表4 人口分布(250mメッシュ)

資料:2015年国勢調査

## (3) 高齢化の状況

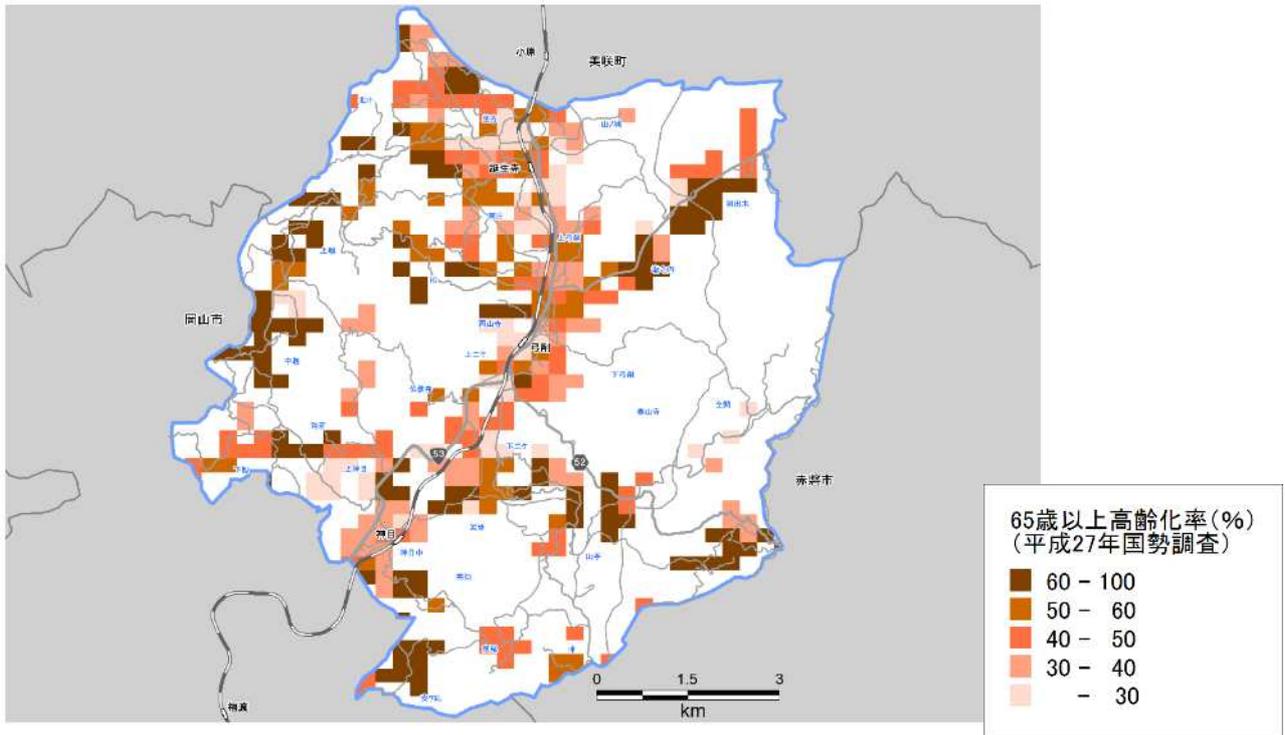
- 2015年国勢調査における高齢化率は42.4%で、岡山県全体の割合を大きく上回っています。
- 高齢化率は、2030年には43.7%になると推計されています。



図表5 老年人口と高齢化率の推移

資料:国勢調査、久米南町の2020年以降…久米南町人口ビジョン  
 県全体の2020年以降…国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」(平成30年12月推計)

- 高齢化率が60%を超える集落が、山間部を中心に分布しています。



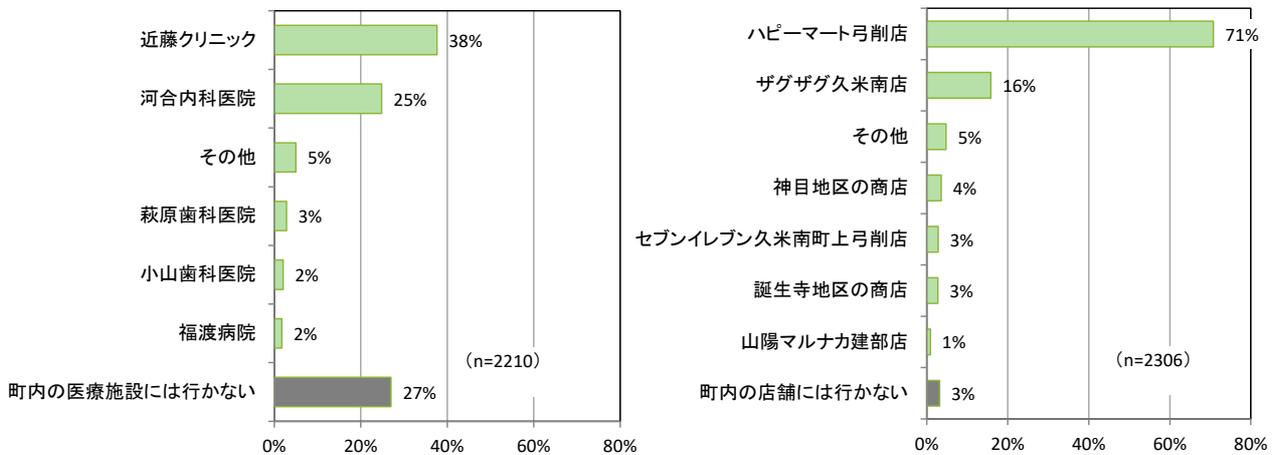
図表 6 高齢化率(250m メッシュ)

資料:2015年国勢調査

#### (4) 日常生活圏

##### ① 通院・買い物の目的地と利用交通手段

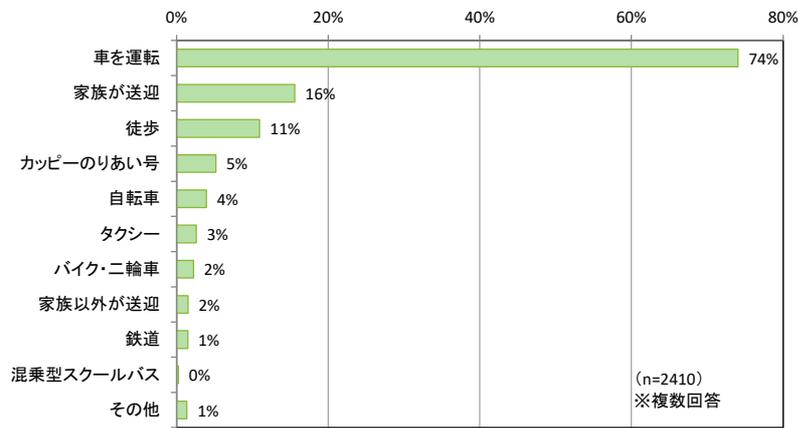
- 住民アンケート調査によると、日常的な通院先として「町内の医療機関には行かない」と回答した人が27%を占めており、通院のために町外へ出かける人が少なからずみられます。
- 一方、日常的な買い物は町内で済ます人が多く、町外へ行く人はわずかです。
- また、通院や買い物の際の交通手段は自家用車が主であり、カッピーのりあい号は5%となっています。



図表 7 日常的な通院と買い物における町内の目的地 (左図:通院、右図:買い物)

資料:住民アンケート調査(2018年10月実施)

福渡病院と山陽マルナカ建部店は町内に立地していないが、自由記述でこれらの施設名称を回答した人をそのまま集計している。

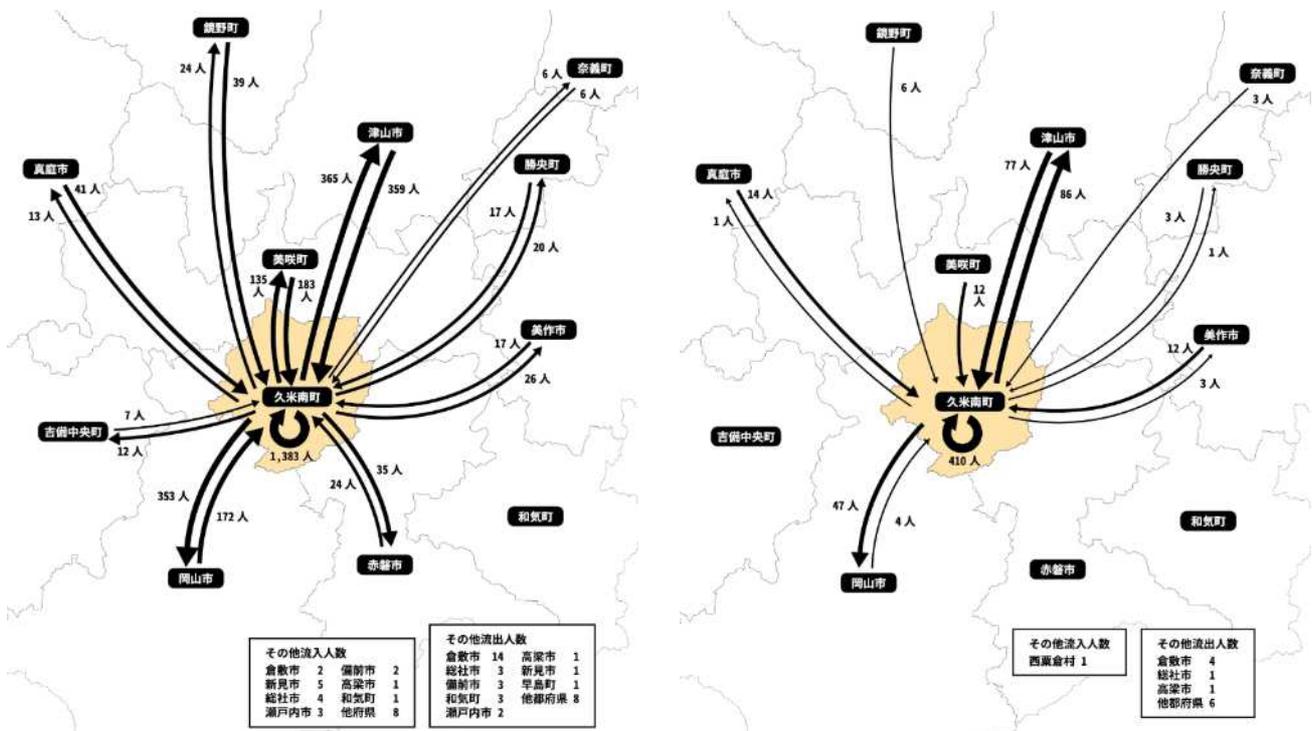


図表 8 通院・買物の交通手段

資料:住民アンケート調査(2018年10月実施)

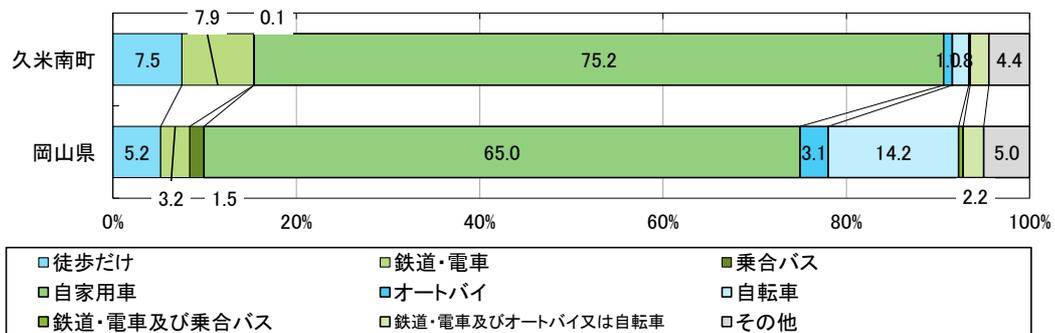
② 通勤・通学の目的地と利用交通手段

- 通勤・通学においては津山市や岡山市との結びつきが強く、2010年では75.2%が「自家用車」で通勤・通学しており、岡山県全体の割合を大きく上回っています。



図表 9 通勤・通学流動(左・通勤、右・通学)

資料:2015年国勢調査

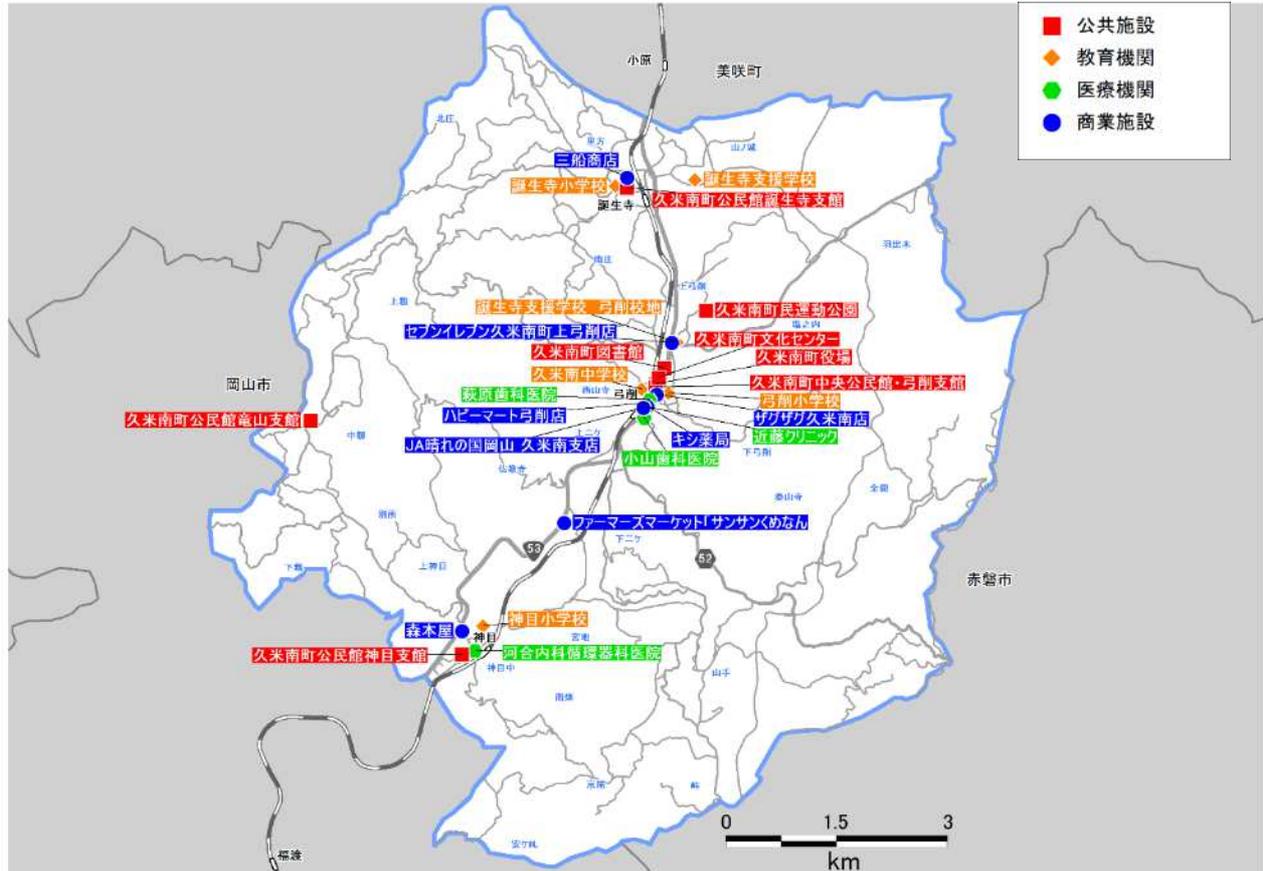


図表 10 通勤・通学における交通手段分担率

資料:2010年国勢調査

## (5) 町内における各種施設の分布

- 公共施設、教育機関、医療・福祉施設及び商業施設は弓削地区の中心部に集積しているほか、誕生寺地区と神目地区の中心部にも立地がみられます。
- 現在の久米南町役場及び中央公民館の敷地において、2023年度の供用開始を目途に庁舎等複合施設を整備する計画が進められています。
- 町内の主な観光資源としては、誕生寺、北庄棚田・上初棚田、治部邸、道の駅「くめなん」等があります。



図表 11 各種施設の分布状況

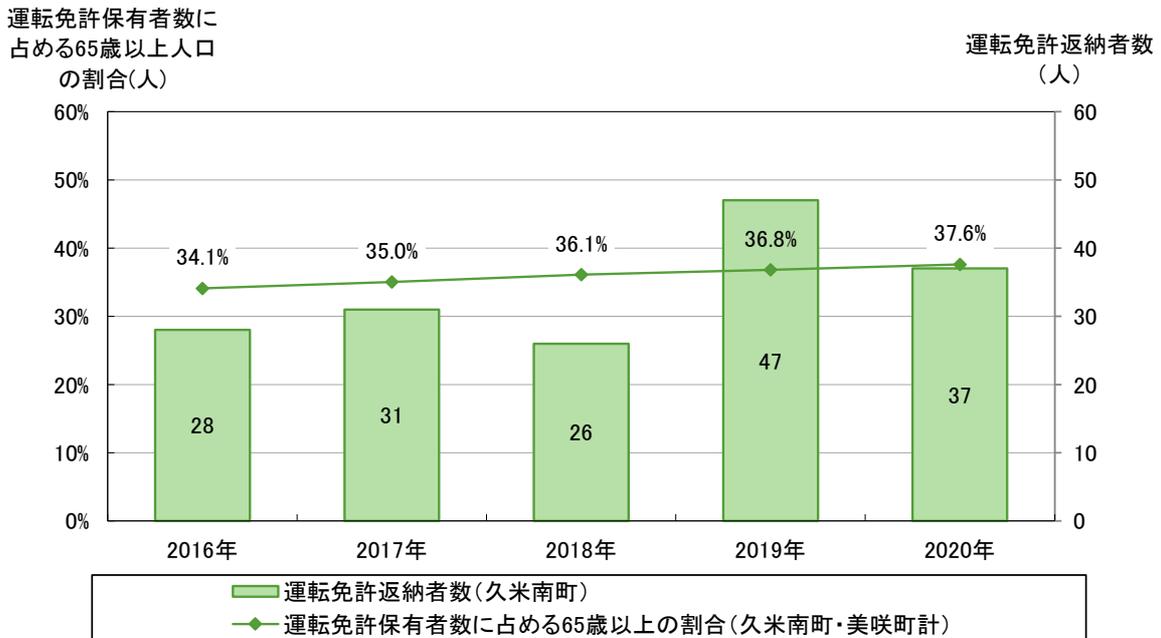


図表 12 庁舎等複合施設のイメージパース(上段)、主な観光資源(下段:左から誕生寺、北庄棚田、道の駅「くめなん」)

資料: 久米南町 Web サイト

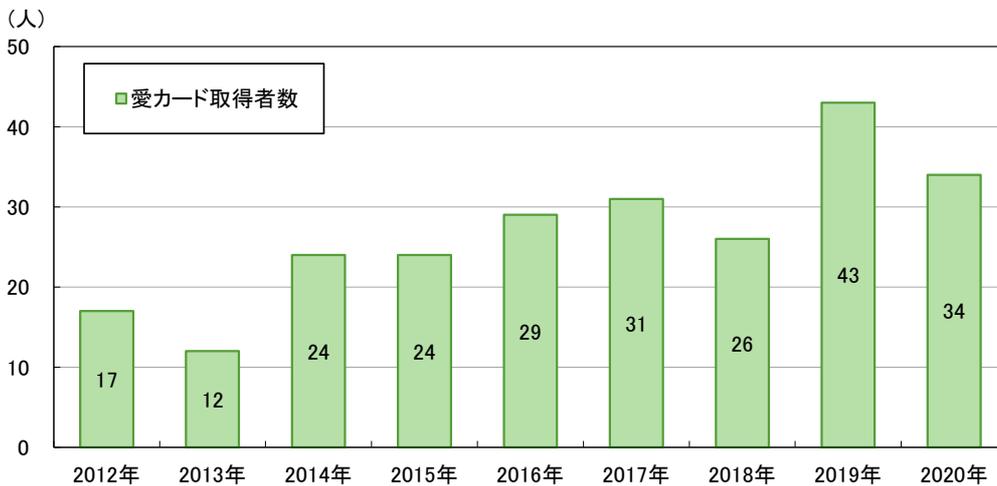
## (6) 運転免許の保有者数と返納者数

- 美咲警察署管内（久米南町及び美咲町）における運転免許保有者数に占める65歳以上人口の割合は上昇傾向にあり、高齢者による交通事故の増加が懸念されています。
- 一方で、町内における運転免許返納者数は2020年で37人となっており、微増から横ばいで推移しています。
- 65歳以上の高齢者が運転免許を自主返納した際に交付される「おかやま愛カード※」の取得者数は、年々増加する傾向にあります。



図表 13 運転免許保有者数及び運転免許保有者数に占める65歳以上の割合の推移

資料：岡山県警察本部



図表 14 おかやま愛カード取得者数

※「おかやま愛カード」とは、運転免許証を自主的に返納等された県内に居住する65歳以上の高齢者の方の申請により、岡山県警察が発行するカード

### 3. 上位・関連計画の整理

#### 1 第5次久米南町振興計画(後期基本計画)

##### (1) 計画の概要

計画期間	2017年度～2021年度
基本目標	町民参画、地域活性、安心安全、定住促進、健康増進、教育振興の6つ
まちの将来像	<キャッチフレーズ> いいひと いっぱい 久米南町 <将来像> 町民にとって… 安心して快適な生活ができるまち 子どもにとって… 健やかに育ち、大きな夢を描けるまち 高齢者にとって… 毎日、元気で楽しく暮らせるまち 転入者にとって… ずっと住み続けたいと思えるまち 出身者にとって… 生まれ育ったことを誇れるまち 来訪者にとって… また訪れたいくなるまち

##### (2) 関連する施策・事業と目標設定

公共交通に関連する施策として、網形成計画を踏まえ次の事項が定められています。なお、目標設定(数値目標)についての定めはありません。

基本方針	町民が生活交通として便利かつ快適に公共交通機関を利用できるよう、久米南町地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通で「ひと」と「まち」をつなぎ、持続可能な地域を形成するために3つの目標を掲げ、具体的な事業に取り組むこととします。	
主な取組	①町民誰もが日常的に利用できる公共交通	デマンド交通を導入しJR津山線との乗り継ぎを考慮することにより、公共交通空白地域の解消と町民バスに代わる町内の公共交通機関の確保を行い、併せてスクールバスの運行を行います。
	②町の魅力を高め、「ひと」がいきいきと交流できる公共交通	公共交通機関の利用促進や活用策を展開することで自由に使える自家用車を持たない人の外出機会を増加させるよう図ります。
	③協働により守り、育て、未来につなげる公共交通	公共交通について理解を深める機会の提供やきっかけづくりを行うことで、地域で公共交通を支える意識の醸成を図ります。

図表 15 第5次久米南町振興計画(後期基本計画)における公共交通に関連する施策・事業

#### 2 第2期久米南町創生総合戦略

##### (1) 計画の概要

計画期間	2020年度～2024年度
基本目標	①子育て環境を整え、魅力あるまちづくり ②地域を支える担い手の移住・定住とひとの流れの創出 ③持続的な地域経済の維持 ④持続的な地域力の創出と維持
横断的な目標	①多様な人材の活躍を推進する ②新しい時代の流れを力にする

## (2) 目標達成に向けた施策

基本目標④の取組内容の1つである「暮らしやすい家庭を築ける環境の整備」において、次の施策とKPI（重要業績評価指標）が掲げられています。

概要	人口減少や少子高齢化により、低下が懸念される地域活力や行政サービスに対し、地域と行政がそれぞれの機能と役割を果たす協働のまちづくりを促進します。
主な取組	協働のまちづくりの推進：安心・安全なまちづくりの推進のため地域の体制づくり等を支援します。 地域公共交通対策の推進：町内にある生活機能が集中する3駅周辺を拠点地域とし、町内全体を面的な公共交通ネットワークで結ぶことで、地域拠点の機能維持を図るとともに、暮らしやすい環境整備を促進します。 集落機能の維持等の支援：中山間地域での生活サービスについて、関係機関と連携し課題の解決や取組について支援します。
取組内容	自主防災組織支援事業、公共交通の体制整備、買い物支援事業
KPI	住み続けたい町民の割合：現状値 83.1%（2016年）→目標値 85.0%（2024年）

図表 16 第5次久米南町振興計画(後期基本計画)における公共交通に関する施策の基本方針と主な取組

## 3 その他の関連計画

その他の関連計画において定められている、公共交通に関する施策・事業等は次のとおりです。

計画の名称	計画期間	公共交通に関する施策・事業等
岡山連携中枢都市圏ビジョン (策定：岡山市)	2017～ 2022年度 (2020年3月 見直し)	<p>【連携施策】生活交通による公共交通ネットワークの充実</p> <p>【事業内容】両市町のコミュニティバス、デマンドタクシー等の運行ルート見直しによる地域間路線の再構築の検討</p> <p>【連携市町の役割・費用負担】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整</li> <li>● 岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する</li> <li>● デマンド交通カッピのりあい号の運行計画の見直し</li> </ul> <p>【KPI】方針の決定（達成時期：2021年度まで）</p>
津山圏域定住自立圏共生ビジョン	2017～ 2022年度 (2020年3月 一部改訂)	<p>【事業名】公共交通連携事業</p> <p>【事業内容】路線バスやJR等の公共交通について、利便性向上や利用促進を圏域で一体的に進めるため、(仮称)圏域公共交通連絡協議会を設置し、利用者ニーズに即した各種公共交通施策の調査検討を行い、広域的な公共交通の再構築に取り組む。</p> <p>【関係市町の役割分担】 協議会へ参画し、連携協力して調査研究、事業実施に取り組む。</p> <p>【事業名】公共交通確保事業（2種免許取得支援補助）</p> <p>【事業内容】地域の公共交通を担っている事業者において、運転手の高齢化と人材確保が喫緊の課題となっていることから、運転手確保のため、2種免許取得のための支援制度を創設し、公共交通事業の確保を図る。</p> <p>【関係市町の役割分担】 制度創設及び事業実施に連携して取り組む。</p>

計画の名称	計画期間	公共交通に関する施策・事業等
第4期久米南町障害者福祉計画	2018～ 2022年度	<移動手段の充実>家族の負担を軽減するため、町内の移動手段であるデマンド交通カッピーのりあい号について周知し、利用促進を図ります。
第7期久米南町高齢者保健福祉計画	2018～ 2020年度	<高齢者の外出支援>高齢者や身体障害者が安心して医療機関や官公庁、買い物等に出かけられるよう公共交通として、デマンド交通「カッピーのりあい号」や「混乗型スクールバス」を運行しています。今後も、誰もが利用しやすい交通手段となるよう充実を図ります。また、公共交通の利用が困難な人を対象にタクシー利用券を配布し、誰もが安心して生活できるよう充実を図ります。

図表 17 その他の関連計画における公共交通に関する施策・事業等

## 4 久米南町地域公共交通網形成計画の事業実施及び目標達成状況

網形成計画においては、「公共交通で『ひと』と『まち』をつなぎ、持続可能な地域を形成する」を計画の基本的な方針として、次の目標を掲げて事業を推進しました。網形成計画の事業及び目標達成状況は次のとおりです。

目標	事業	実施状況	目標達成状況
町民だれもが日常的に利用できる公共交通	デマンド交通の導入	町全域において、デマンド交通「カッピーのりあい号」の本格運行を2016年4月から開始 2020年1月から、AI配車プラットフォーム（SAVS）を導入	評価指標：公共交通空白地域の居住人口割合 策定時：28.7%→目標値：0% 現在：0%（達成）
	スクールバスの運行	2017年4月より、「混乗型スクールバス」の運行を小中学校の登校日のみ朝夕計4便とし、通学機能に特化	評価指標：小中学校の生徒数に対するスクールバスの利用率 目標値：100% 現在：利用を希望する生徒の利用率は100%（概ね達成）
	近隣市町とを結ぶ交通サービスの充実	本格運行開始に伴い、「カッピーのりあい号」を3往復6便から6往復12便に増便し、全便についてJR津山線との接続を確保  2017年度に、福渡病院との間を結ぶデマンド交通の試験運行を実施（交通事業者が独自で実施、現在は休止中）	評価指標：JR津山線と接続するデマンド交通の便数 策定時：1便→目標値：全便 現在：全便（達成）

図表 18 網形成計画の事業及び目標達成状況の検証結果

目標	事業	実施状況	目標達成状況
まちの魅力を高め、「ひと」がいきいきと交流できる公共交通	地域と連携した公共交通の利活用による外出促進	2017年度にタクシー(乗用)の営業所が開設され、町内にタクシーが常駐  2020年6月より、「カッピーのりあい号」による商品宅配サービスを開始、同年9月より個人宅相互間における荷物配達サービスに拡充	評価指標：デマンド交通利用登録者アンケート調査において「外出回数が増えた」と答えた人の割合 策定時：26%→目標値：30% 現在：2020年11月のアンケート調査において、「カッピーのりあい号」利用者の32.3%が「2016年12月以前と比べて外出頻度が増えた」と回答 (達成)
	「ひと」が集う交流拠点づくり	医療機関や商店等と連携して、施設や店舗の中で待つことのできるスペースを確保  庁舎等複合施設の整備にあたり、待合スペースの確保を検討中	評価指標：地域と連携した待合スペースや交流拠点の確保数 策定時：0箇所→目標値：5箇所 現在：5箇所以上(検証中・達成)
協働により守り、育て、未来につなげる公共交通	公共交通を地域で支える仕組みの構築	「広報くめなん」や町のWebサイト等を活用して、公共交通の利用実態や取組についての情報を提供  2019年度に「公共交通利用のしおり」を作成し配布  事業に示す検討会や住民説明会及び意見交換会を開催するも、地域住民が主体となった検討組織化にまでは至っていない	評価指標：地域住民による公共交通の検討組織数 策定時：0組織→目標値：デマンド交通の運行区域ごとに1組織以上 現在：地域住民が主体となった組織は設立されていない (未達成)
	公共交通を利用するきっかけづくり	2016～2018年度にかけて、「カッピーのりあい号」の運行改善や混乗型スクールバスの見直しについての意見交換会を複数回開催  2019～2020年度にかけて、「カッピーのりあい号」へのAI配車プラットフォーム(SAVS)導入や商品宅配サービス導入についての説明会を複数回開催	評価指標：地域住民の参加する検討会や、住民説明会及び意見交換会の開催件数 策定時：5回→目標値：デマンド交通の運行区域ごとに年1回以上 現在：2019年度は計4回開催、2020年度はコロナ禍により開催できず(概ね達成)

図表 19 網形成計画の事業及び目標達成状況の検証結果

## 4. 地域旅客運送サービスの現状等

### 1 地域旅客運送サービスの整備状況

#### (1) 公共交通網

- 国道 53 号に平行する JR 津山線に、誕生寺駅、弓削駅及び神目駅の 3 駅が置かれています。
- 町内の移動に利用できる公共交通としては、デマンド交通「カッピーのりあい号」が町全域において運行されているほか、タクシー（乗用）の営業所が 1 か所置かれています。
- また、小中学生の通学のための混乗型スクールバスが運行されており、一般住民も無償で利用することができます。
- 美咲町では、美咲町役場を拠点として「美咲町営バス」が運行されており、支所間バス旭線が誕生寺支援学校まで乗り入れています（町内の停留所は誕生寺支援学校 1 箇所のみ）。
- 岡山市北区建部町では、JR 福渡駅等を交通結節点として「御津・建部コミュニティバス」が運行されていますが、久米南町内への乗り入れはありません。
- このほか、岡山桃太郎空港と津山市との間を結ぶ乗合タクシーの停留所が久米南町役場前に置かれており、岡山桃太郎空港との間の移動に限り利用できます。また、岡山市と津山市との間を結ぶ高速乗合バス「岡山エクスプレス津山号」が国道 53 号を走行していますが、町内に停留所は置かれていません。



図表 20 公共交通網

## (2) 公共交通の運行状況

### ① 町内の公共交通の運行概要

- 町内では、鉄道（JR 津山線）や、デマンド交通「カッピーのりあい号」等、誰でも利用できる交通手段として5つの公共交通機関が運行されています。
- 隣接する岡山市北区建部地域では「御津・建部コミュニティバス」、美咲町では「美咲町営バス」が運行されており、美咲町営バス（支所間バス・旭線）は、平日のみ2往復が誕生寺支援学校まで乗り入れています。

公共交通の分類	運行日・本数・便数	運行時間帯	主な区間の運賃
鉄道 (JR 津山線)	毎日運行 岡山方面 22 本（うち快速 8 本） 津山方面 25 本（うち快速 7 本） ※快速は弓削のみ停車	6 時台～0 時台 弓削駅の始終発時刻…岡山方面 4 時 53 分・22 時 7 分、津山方面 6 時 3 分、0 時 17 分	弓削～岡山 870 円 弓削～福渡 240 円 津山～弓削 330 円
カッピー のりあい号	平日のみ運行 12/29～1/3 は運休	8 時～17 時 電話又はスマートフォンアプリで予約が必要	1 乗車あたり 300 円
タクシー (乗用)	毎日運行 営業所の所在地：久米南下弓削 在籍車両数：2 台（うち 1 台はカッピーのりあい号と兼用）	2019 年末頃から夜間営業を休止中	
混乗型 スクールバス	町内を 5 コースに別け、登校日に限り各コース 4 便運行 (登校 1 便、下校 3 便)	登校：7～8 時台 下校：15 時台、16 時台、17 時台（夏季は 18 時台）	一般利用の場合は無償
空港乗合 タクシー	毎日、航空機のダイヤにあわせて 8 往復 16 便運行	岡山桃太郎空港方面は久米南町役場前発 5 時台から 18 時台まで、津山駅方面は役場前着 10 時台から 22 時台まで	久米南町役場前～岡山桃太郎空港 2,800 円

図表 21 町内の公共交通の運行概要

公共交通の分類	運行日・本数・便数	運行時間帯	主な区間の運賃
美咲町営バス (支所間バス：旭線)	平日のみ、美咲町役場～誕生寺支援学校の間で 2 往復運行	8 時台、15 時台	無償
御津・建部 コミュニティバス	幹線（福渡～国立医療センター線）は平日と土曜日に 4 往復運行	福渡駅発 7 時台、9 時台、12 時台、15 時台 福渡駅着 9 時台、11 時台、14 時台、18 時台	福渡駅～国立医療センター 500 円

図表 22 隣接する市町における公共交通の運行概要

## ② 「カッピーのりあい号」の運行経緯とサービスの変遷

- デマンド交通「カッピーのりあい号」は、2015年1月に町内の2地区で試験運行を行った後、2016年4月から町内全域において各ゾーン平日3往復6便の運行を開始しました。
- その後、2017年2月の6往復12便への増発を経て、2020年1月にAI配車プラットフォーム「SAVS」を導入し、運行時間帯であればいつでも町内どこへでも移動できるよう時刻の定めを無くしました。あわせて、スマートフォンによる予約受付を開始しました。
- 2020年6月には、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、飲食店の商品の宅配サービスを開始しました。同年9月に対象店舗を飲食店以外に拡大し、あわせて、個人宅間の荷物の宅配サービス（おすそ分けサービス）を開始しました。
- さらに、2020年9月から12月まで土日祝日の試験運行を行い、実際の需要と持続可能性を検証しました。

時期	内容		
2015年1月～2月	弓削・竜山地区の一部地域で試験運行を実施		
2016年4月～	町内全域（弓削、誕生時、神目、竜山及び全間の5ゾーン）で本格運行開始 各ゾーンと町中心部との間を平日1日あたり3往復6便運行		
2017年1月～	町民バスを「混乗型スクールバス」に転換し、原則として通学専用化		
2017年2月～	運行本数を3往復6便から6往復12便に増発		
2020年1月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AI配車プラットフォーム「SAVS」を導入し、スマートフォンでの予約を開始</li> <li>● 時刻の定めを無くし、運行時間帯であればいつでも好きなときに町内どこへでも移動できるよう変更</li> </ul>		
	項目	変更前	変更後
	運行時刻	8時台から17時台まで、1日6往復12便	定め無し 運行時間内（8:15～17:00）であれば、いつでも好きなときに利用可能
	予約締切時刻	乗車希望時刻の1時間前	乗車直前まで
	運行区間	各ゾーン～町中心部 （ゾーン間の移動は乗り換えが必要）	ゾーンの区分けを無くし、町内どこへでも乗り換え無しで移動可能
予約方法	電話のみ	電話、スマートフォン（Webアプリ）	
2020年6月～	飲食店の商品宅配サービスを開始		
2020年9月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土日祝日の試験運行（9/19～12/13まで）</li> <li>● 商品宅配サービスを飲食店以外に拡大</li> <li>● 個人宅間における荷物の宅配サービス（おすそわけサービス）の開始</li> </ul>		

図表 23 カッピーのりあい号のサービスの変遷

2020年9月19日(土)から  
「カッピーのりあい号」が  
更に！便利になります！！



ここが便利に **1 土日祝日も運行します！** 12月13日(日)までの期間限定(実証実験)

例えば「文化センターでの催しへ行きたい」場合  
スマートフォンアプリでも可能！  
電話でこの3つを伝えるだけ！！

<b>1 【お客様情報】</b> ■お名前 ■住所 ■電話番号	<b>2 【乗降場所】</b> ■迎車場所 ■目的地	<b>3 【時間指定】</b> 希望時刻を以下のいずれかによりお伝えください。 1) いまから来てほしい 2) ●●時●●分に迎えに来てほしい 3) ○○時○○分までに到着したい
--	----------------------------------	---

ここが便利に **2 宅配サービスで運べる品目が増えました！**

その1 町内の個人宅相互間における荷物の配達サービス(おすそわけサービス)を始めます！

野菜がたくさん穫れたから、〇〇さんにおすそわけしたい！

野菜のほか、作りすぎた料理や、余ったいただき物など、さまざまな「おすそわけ」にご活用ください！

運べる荷物の大きさ・重さ  
33cm×49cm×高さ30cmのコンテナに収まり、かつ10kg以下のもの

カッピーのりあい号が受け取りに伺い、〇〇さん宅へお届けします

図表 24 土日祝日試験運行、おすそわけサービス等を周知した広報誌の記事

その2 サービスの対象店舗・取扱商品を拡充します！

宅配サービスに対応している店舗 (2020年10月20日現在)

お弁当やパンの他、食料品、お酒やタバコ、花の土などお届けできます！

<b>弁当・総菜</b> アルピニ 久米南町神目中 5-30 086-722-4848	<b>お酒・タバコ</b> 三船商店 久米南町里方 825 086-728-2633
<b>パン</b> パンのいえ プレ 久米南町塩之内 1355 080-3890-9705	<b>農具・土</b> 三船建材店 久米南町里方 825 086-728-2633
<b>衣料品</b> new!! 前呉服店 久米南町里方 872-2 086-728-2701	取扱商品については、町のホームページをご覧ください。店舗に直接お問い合わせください。 <b>対象店舗は随時募集中!!</b> 店舗の登録についてのご相談は下記まで

サービスの対象エリア 久米南町全域

運行日 9/19~12/13は毎日  
12/14以降は平日のみ  
※年末年始(12/29~1/3)は連休

運賃・配達料 1乗車片道 300円  
以下を証明できる方は割引されます  
※小学生及び生活保護受給者、おかやま愛カード保有者、該当の各種障害手帳等をお持ちの方は半額  
※小学生未満は無料

予約方法 フリーダイヤル 0120-728-306  
電話で予約(予約受付番号) または スマートフォンアプリ  
https://passenger.savs.miraishare.com/xumenan/

運行時間帯・配達可能時間 8:00 ~ 17:00  
※電話による当日の予約は16:30まで  
※ご利用の店舗により配達時間は変わります。詳しくは店舗に直接お問い合わせください。

配達料 1回につき 300円  
(商品代金は別途かかります)

【お問い合わせ】久米南町 総務企画課 TEL:086-728-2111

### (3) 公共交通の利用環境

#### ① 交通結節点における接続状況と、主要乗降ポイントにおける待合環境

- カッピーのりあい号と JR 津山線とを乗り継ぐ人の多くが利用する弓削駅では、カッピーのりあい号の運行時間帯の 8 時台から 17 時台まで、JR 津山線は上下とも 1 時間に 1 本以上運行されています。(弓削駅にしか停車しない快速「ことぶき」を含む)
- 町内の 3 駅には、駅構内に待合室やトイレが設置されています。各駅及び主要乗降ポイントでは、町外からの来訪者にカッピーのりあい号の予約・利用方法を周知するポスターを掲示しています。
- カッピーのりあい号の利用者が多い近藤医院、河合医院、ハピーマート弓削店、ザグザグ久米南店、JA 晴れの国岡山久米南支店のうち、近藤医院や河合医院では建物内で座って待つことができますが、ハピーマート弓削店等、屋内に座って待つことのできる環境が整っていない施設もあります。



図表 25 主要乗降ポイントにおける待合環境(左:弓削駅、右:ハピーマート弓削店)



図表 26 ポスターによる情報発信の状況

## ② 車両のバリアフリー化の状況及び今後の更新予定

- カッピ-のりあい号の車両は、セダン（プリウス）が2台、ミニバン（ノア）が2台で、いずれも運行開始当初からの車両であり、5年以内に更新が予定されています。
- タクシー（乗用）も、カッピ-のりあい号と同じくセダン型の車両が使われています。
- 混乗型スクールバスの車両は車両前方に乗降口が1か所あるタイプで、車内床面との間には数段の段差があります。車両はいずれも5年以内に更新されています。

公共交通の分類	車種・乗車定員・台数
カッピ-のりあい号	セダン（乗車定員5人）2台 ミニバン（乗車定員7人）2台
タクシー（乗用）	セダン（乗車定員5人）2台
混乗型スクールバス	トヨタハイエースコミュニーターDX（乗車定員14人）2016年式3台、2020年式1台 三菱ふそうローザ（乗車定員29人）2016年式×2台 トヨタコースターLX（乗車定員29人）2020年式×2台

図表 27 各車両のバリアフリー化の状況



図表 28 カッピ-のりあい号の車両(左:セダン、右:ミニバン)

### ③ 公共交通に関する情報提供

- 町では、公式ウェブサイトや「広報くめなん」等を活用して、カッピーのりあい号をはじめとする町内の公共交通の利用方法等に関する周知を行っています。
- 混乗型スクールバスへの転換や SAVS 導入の際には、町内の各地区において住民説明会を開催し、利用方法等の周知を図りました。

令和2年 1月20日(月)から デマンド交通「カッピーのりあい号」がさらに便利に！

8:15 ~ 17:00 運行時間内なら いつでも好きなときに利用できるようになります！

どこが便利に 1 時刻の定めがなくなり、いつでも町内どこへでも

どこが便利に 2 乗車直前まで予約可能

運行日 月～金 ※土日祝日及び年末年始(12/29～1/31)は運休

運行時間 8:15～17:00 ※予約受付は8:00～17:00(乗車当日の予約は16:30まで)

運賃 1乗車 片道 300円(往復利用は600円)

予約方法 電話で予約 予約受付番号 0120-728-306

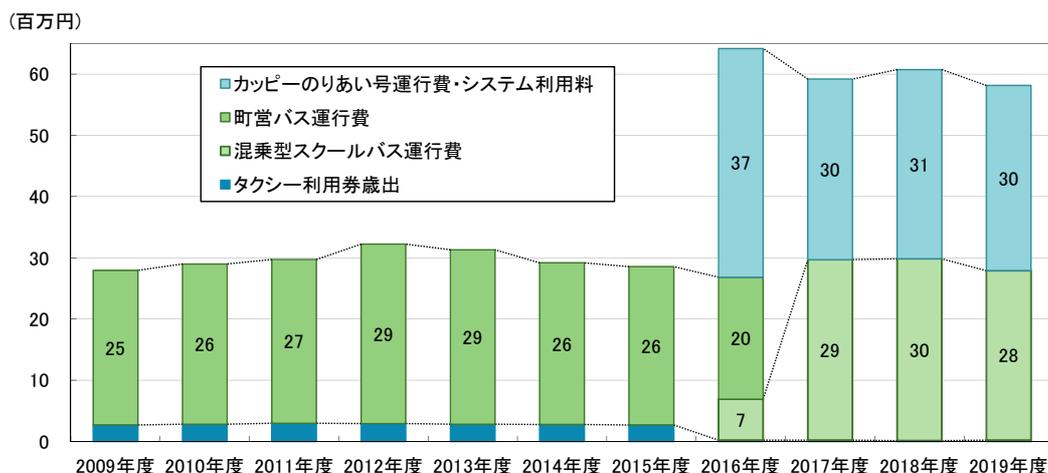
スマートフォンで予約 予約サイトのURLやQRコードは改めてお知らせします。

図表 29 「広報くめなん」による周知

## (4) 公共交通の収支状況

### ① 公共交通を維持・確保するための公的負担の推移

- 2016年4月のカッピーのりあい号の本格運行開始に伴い、公共交通の維持・確保に係る公的負担はそれまでの年度の約2倍に増加しています。
- 町は、カッピーのりあい号の運行事業者に対する運行補助金と SAVS のシステム利用料を負担しており、その額は運行開始当初に比べて減少しているものの、2019年度で30百万円となっています(運賃収入及び国庫補助を差し引いた額)。
- また、混乗型スクールバスの運行と、障害者等に対するタクシー利用券の交付に係る費用も負担しており、これらの合計は2019年度で28百万円となっています。
- 混乗型スクールバスの便数は町民バス運行当時に比べて少なくなっていますが、運行費は町民バス運行当時と大きく変わらず推移しています。
- なお、カッピーのりあい号と混乗型スクールバスの運行に係る公的負担については、前者は特別交付税<sup>1</sup>により約8割、後者は普通交付税<sup>2</sup>により1台あたり約6百万円がそれぞれ措置されるため、町の実際の支出額は表の金額より少なくなります。



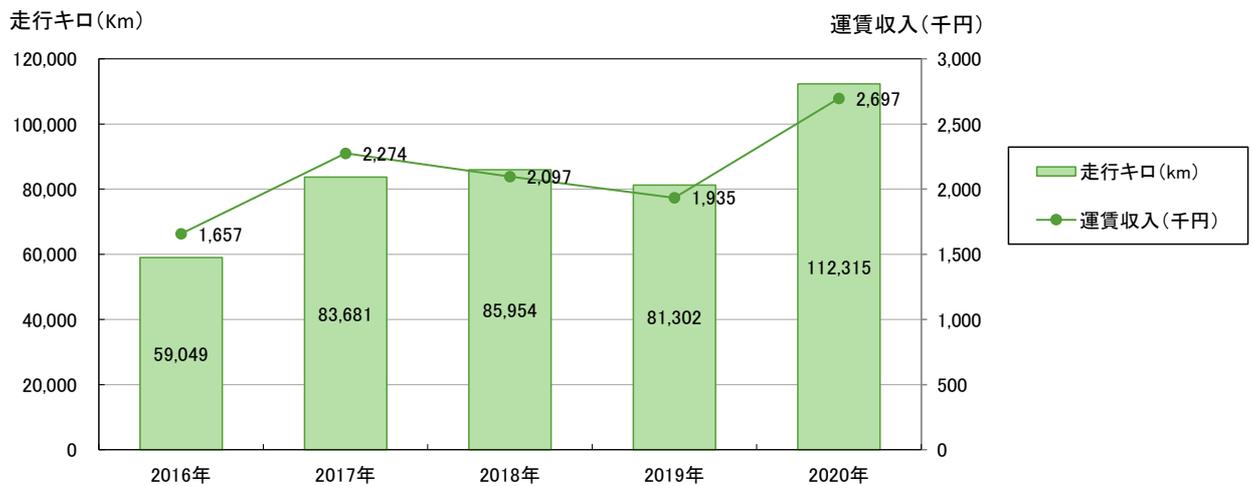
図表 30 公共交通を維持・確保するための公的負担の推移

<sup>1</sup> 財源不足が生じる地方公共団体に対して国が交付する税のこと

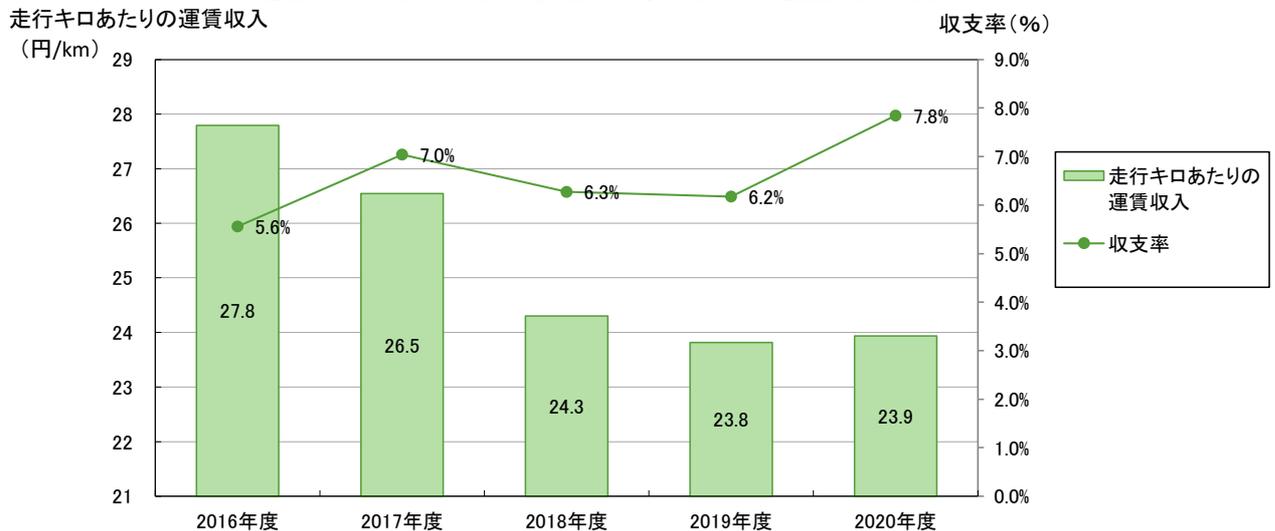
<sup>2</sup> 普通交付税では措置されない特別の財政需要に応じて、国が地方公共団体に交付する税のこと

## ② 「コピーのりあい号」の収支状況、輸送効率及び運行体制

- コピーのりあい号の走行キロと運賃収入は、利用者の頭打ちにより減少傾向にありましたが、SAVSの導入による利用者数の増加により、2020年には増加に転じています。
- 走行キロあたりの運賃収入は、SAVSの導入による輸送効率の改善等により、2020年度にはそれまでの減少から増加に転じています。
- 収支率（運行費とシステム利用料の合計額に占める運賃収入の割合で、国庫補助を除く）は2019年度（補助年度）で6.2%となっており、本格運行開始当初に比べて改善しているものの、費用の大部分は依然として公的負担によりまかなわれています。
- 車両の台数は、運行開始当初は6台（うち予備車1台）で運用していましたが、現在は5台（うちタクシー（乗用）と兼用の予備車1台）に削減し効率化を図っています。人員は乗務員と予約受付のオペレータをあわせた8名体制となっています。



図表 31 「コピーのりあい号」の運行状況(総走行キロ)と運賃収入の推移



図表 32 「コピーのりあい号」の走行キロ当たりの運賃収入と収支率の推移

※2020年度は2021年1月までの実績

## (5) 公共交通以外の各種施設等が行う送迎サービスや移動販売等の実施状況

町内では、公共交通のほかに、移動に関する次のサービス等が提供されています。

運行主体又はサービスの名称	事業概要・利用状況及び課題等	
久米南町社会福祉協議会 (久米南町下弓削)	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 送迎車両（ふれあい号）を用いて「生きがい支援通所事業」の利用者を久米南町保健・福祉センターへ送迎</li> <li>● 社協が保有する定員 28 名の車両で運行、2025 年度までの更新予定無し</li> </ul>
	利用状況及び課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2019 年度の「生きがい通所支援事業」利用者 1,214 人のうち、95%が送迎サービスを利用</li> <li>● 迎いは 9 時台、送りは 15 時台の利用が多い</li> <li>● 利用者数に対して車両が大きすぎることで、運転手不足、維持費が高額であること等が課題</li> </ul>
つくし介護タクシー (久米南町里方)	介護移送を専門とする予約制のタクシーを運行 事業形態：一般乗用旅客自動車運送事業（福祉輸送限定） 営業日・時間帯：月曜日～土曜日の 8～18 時	
誕生寺支援学校スクールバス	生徒の通学のため、登下校時間帯に生徒専用のスクールバスを運行	
移動販売	天満屋ストアによる「とくし丸」、久米南町社会福祉協議会が仲介し久米南町商工会の協力を得て実施している移動販売等がある	

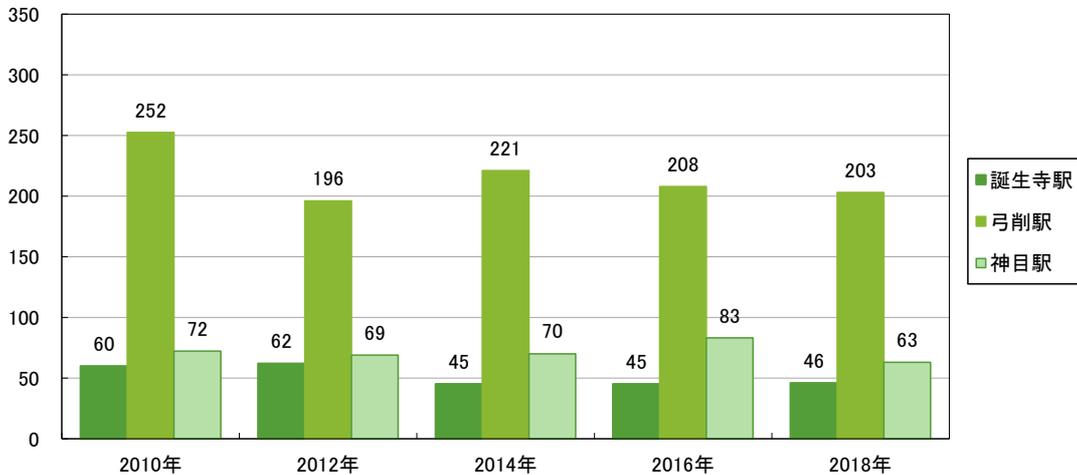
図表 33 各種施設等が行う送迎サービスや移動販売サービス等の実施状況

## 2 地域旅客運送サービスの利用状況

### (1) 鉄道

- 各駅の 1 日あたり平均乗車人員は、弓削駅が 2018 年度で 203 人/日と多く、神目駅と誕生寺駅は 50 人/日前後となっています。
- 1 日あたり平均乗車人員は、各駅とも横ばいから減少傾向にあります。
- 定期・定期外の内訳をみると、約 8 割から 9 割を定期が占めています。

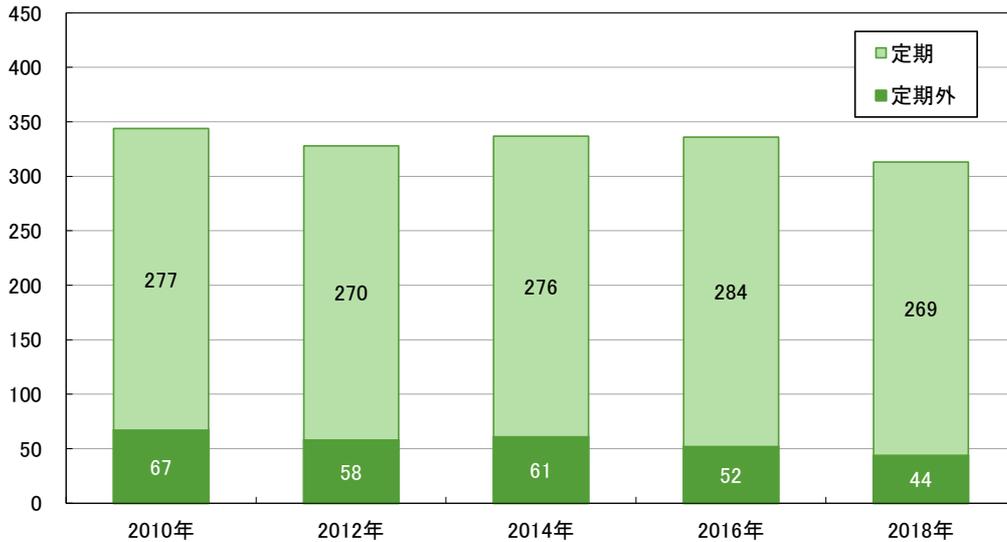
1人あたり平均乗車人員  
(人/日)



図表 34 駅別の 1 日平均乗車人員の推移

資料：岡山県統計年報

1人あたり平均乗車人員  
(人/日)

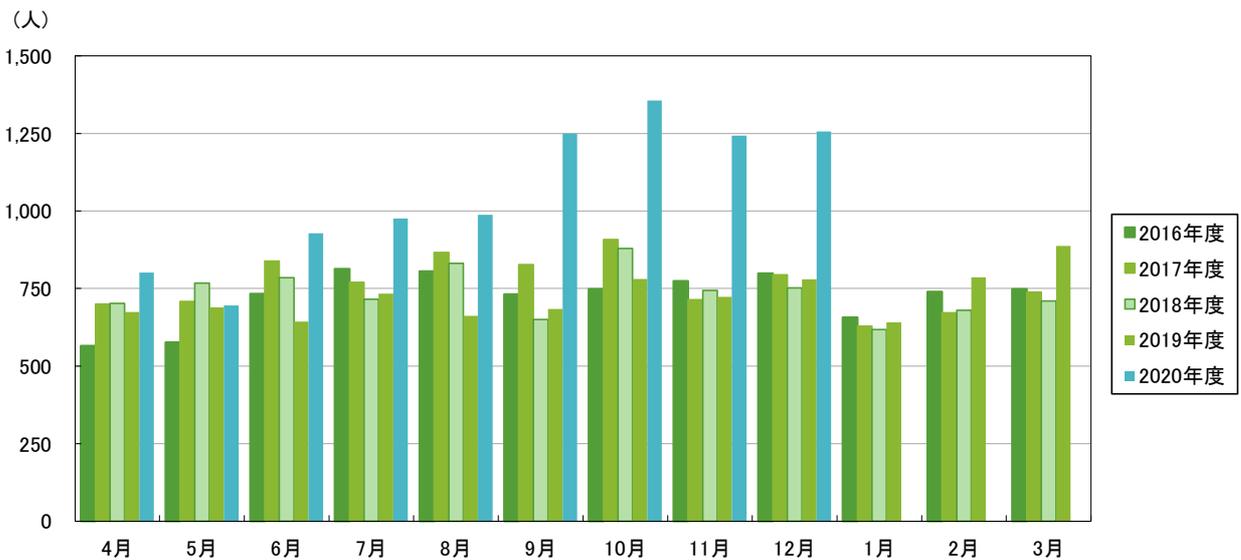


図表 35 定期・定期外別 1日平均乗車人員の推移

資料:岡山県統計年報

## (2) カッピーのりあい号

- 1ヶ月あたりの利用者数は、2016年4月の本格運行開始から年平均700人台で推移していましたが、SAVSの導入後は新型コロナウイルスの感染拡大にもかかわらず増加傾向にあり、2020年1月から11月までの平均で959人/月となっています。
- SAVS導入後の月別1日平均利用回数も同様に増加傾向にあります。土日祝日は、平日の4~5割程度の利用があります。
- 利用目的(自宅を除く)は、「病院」と「買い物」が多く、以下、「役場等の公共施設」、「理容・美容」の順になっています。
- 運行回数(稼働回数)が増加する一方で延べ利用者数は減少しており、1便あたり利用者数は減少傾向にあります。なお、SAVSを導入した2020年度の4月~5月の実績は約1.2人/便となっており、輸送の効率性を高めることが課題となっています。

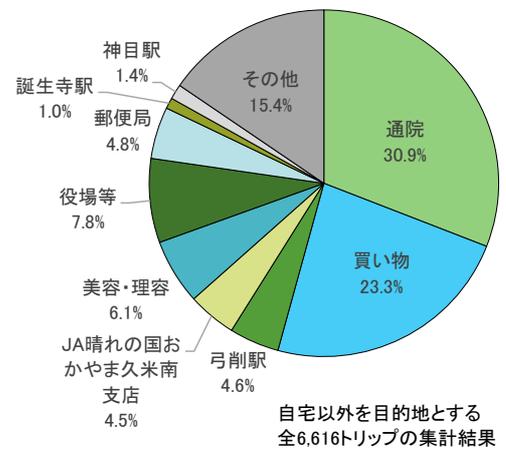
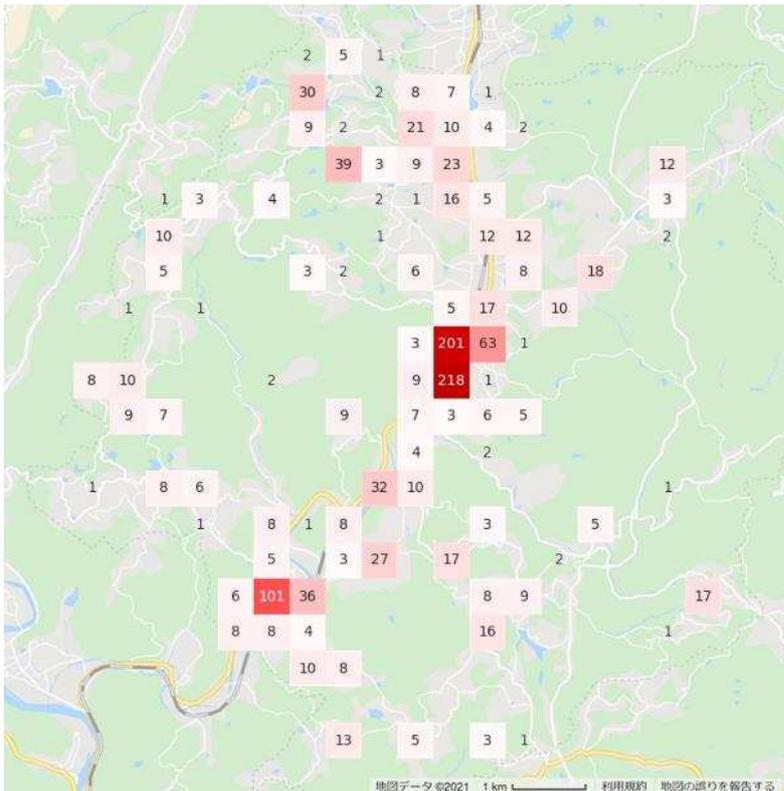


図表 36 カッピーのりあい号年度別・月別利用者数の推移

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平日	36.8	43.7	42.3	38.2	38.7	42.2	46.5	49.4	55.0	52.2	52.5	54.3
土曜日									31.5	25.8	25.0	26.5
日曜日									14.0	19.8	19.8	16.3
祝日									30.0		23.5	
合計	36.8	43.7	42.3	38.2	38.7	42.2	46.5	49.4	48.1	43.7	41.4	44.9

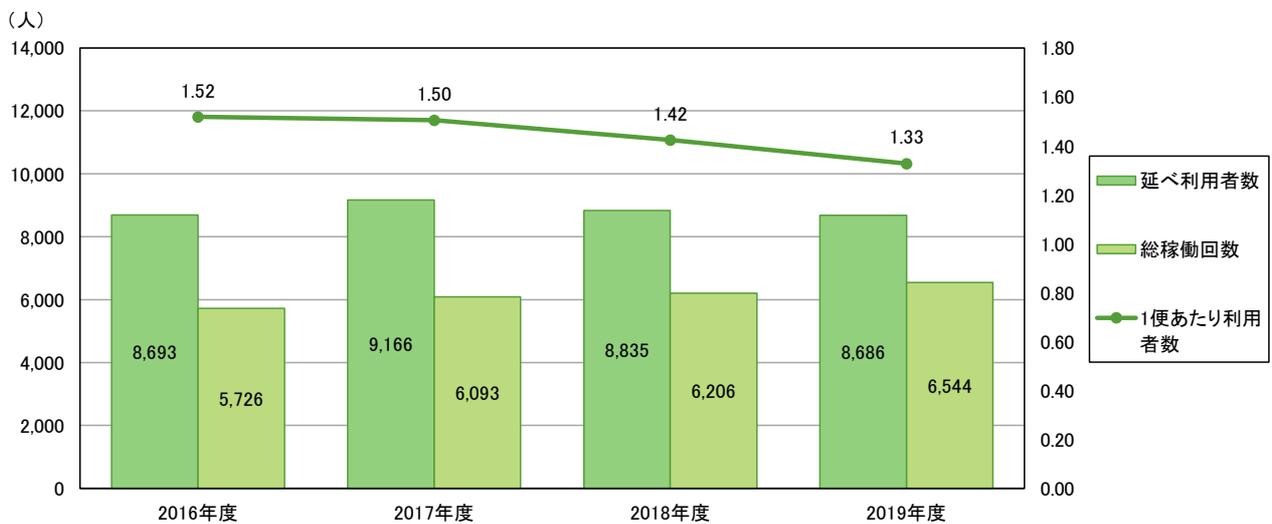
図表 37 SAVS 導入後の月別 1 日平均利用回数の推移(人/日)

※土日祝日の運行日拡大実験を 2020 年 9 月 19 日から 12 月 13 日まで実施、10 月と 12 月は祝日なし



図表 38 コピーのりあい号の降車位置分布(左図)と目的別利用者数(右図)

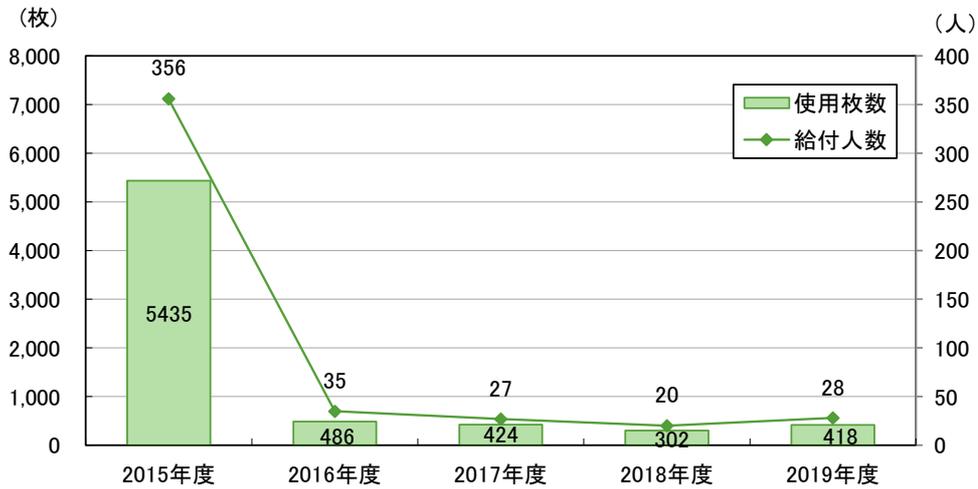
※集計期間は、左図は 2020 年 12 月 1 日～12 月 31 日までの 1 か月間、右図は 2020 年 1 月 20 日から 12 月 31 日までの約 1 年間



図表 39 「コピーのりあい号」の 1 便あたり利用者数

### (3) タクシー(乗用)

- 町では、一枚 500 円のタクシー利用券を月に 2 枚、最大 24 枚交付する「タクシー助成制度」を実施しています。
- タクシー利用券の配布対象者は、カッピーのりあい号の本格運行開始によって町内の移動手段が充実したことを踏まえ、2016 年度に変更されました。
- タクシー利用券は、2015 年度には 5,435 枚の利用がありましたが、上記の変化に伴い、2016 年度以降は 300~500 枚と大きく減少しています。



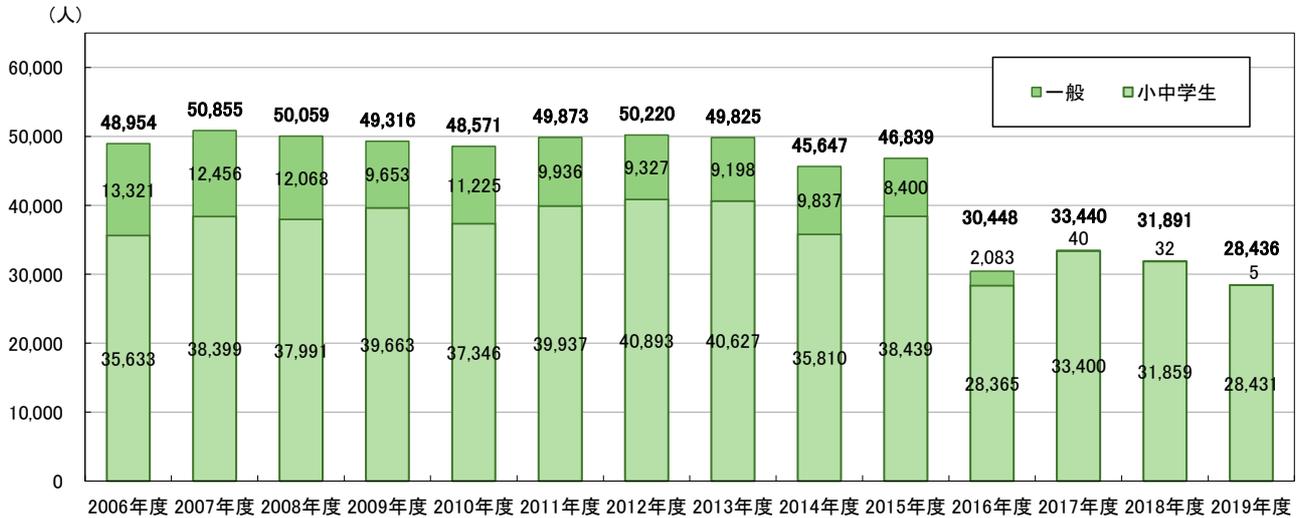
図表 40 タクシー利用券の利用者数の推移

項目	変更前	変更後
対象者	75 歳以上の高齢者のみの世帯もしくは一人暮らしの高齢者、又は身体障害者手帳か精神障害者保健福祉手帳 1 級又は 2 級をお持ちの方で、次の要件をすべて満たす方すべて満たす方。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自家用車、JR、町民バス等を利用できない</li> <li>● 在宅で生活を送っている</li> <li>● 久米南町交通費助成事業で交通費助成を受けていない</li> </ul>	久米南町に住所があり、在宅で生活されている方のうち、次の条件に該当されている方。 ※本人が自家用車を保有している場合は除く (1)身体障害者手帳の 1 級又は 2 級の交付を受けている方 (2)療育手帳 A の判定を受けている方 (3)精神障害者保健福祉手帳の 1 級の交付を受けている方 (4)介護保険被保険者証の要介護 4 又は 5 の判定を受けている方
交付枚数・金額	交付決定日より数えて月 2 枚を年度分一括で交付 (最大 24 枚) 一枚あたりの券面金額は 500 円	

図表 41 タクシー利用券対象者の変更内容

#### (4) 混乗型スクールバス

- 混乗型スクールバスの利用者数は、町民バスから転換した 2016 年度以降は年間 30 千人前後で推移しています。
- 「カッピーのりあい号」の本格運行が始まった 2016 年度以降は、児童・生徒以外の一般客の利用はごくわずかとなっています。



図表 42 町民バス(2016年12月まで)と混乗型スクールバス(2017年1月から)の利用者数の推移

#### (5) 空港乗合タクシー

- 運行事業者への聞き取り調査によると、「久米南町役場前」での乗降者数は週に 4~5 人程度であり、出張者や観光客、帰省客等の利用が主となっています。

#### (6) 新型コロナウイルスの感染拡大による影響

- カッピーのりあい号の利用者数は、新型コロナウイルスの感染拡大と緊急事態宣言(1回目)の発出により 2020 年 4 月~5 月は落ち込んだものの、その後は回復し、土日祝日の試験運行等により 2020 年 12 月は 54.3 人まで増加しています。利用目的の大部分を占める買い物や通院目的での利用にはコロナ禍の影響は一時的又は小さかったためであると考えられます。
- 一方、定期(通勤・通学目的)での利用者が多い JR 津山線は、利用者の減少に伴い 2021 年 3 月 13 日のダイヤ改正で始発時刻の繰り下げと終発時刻の繰り上げが行われます。
- 具体的には、津山 4:29 発の始発列車を 19 分繰り下げて 4:48 発に、岡山 23:20 発の最終列車を 14 分早めて 23:06 発に変更となります。
- また、空港乗合タクシーについても、岡山桃太郎空港を発着する飛行機の時刻にあわせて運行時刻の変更等が行われています。

### 3 地域旅客運送サービス利用者の意向

日常生活における移動の実態、公共交通の利用状況と改善要望の把握、「カッピーのりあい号」のサービス改善による効果検証等を目的として実施したアンケート調査の結果をもとに、地域旅客運送サービスの利用者の意向を分析しました。

#### ■ 調査対象

1. 久米南町に居住する 20 歳以上の住民の中から無作為に抽出した 700 名
2. 「カッピーのりあい号」のシステム導入以降の利用者全員（280 名）

#### ■ 実施時期

2020 年 11 月

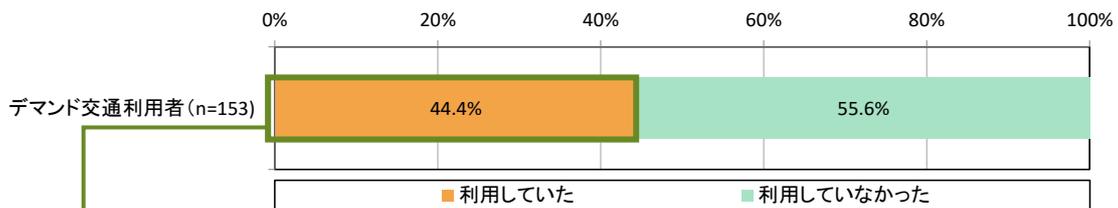
#### ■ 配布数、回収数及び回収率

配布数 980 票に対し回収数 514 票、回収率 52.5%

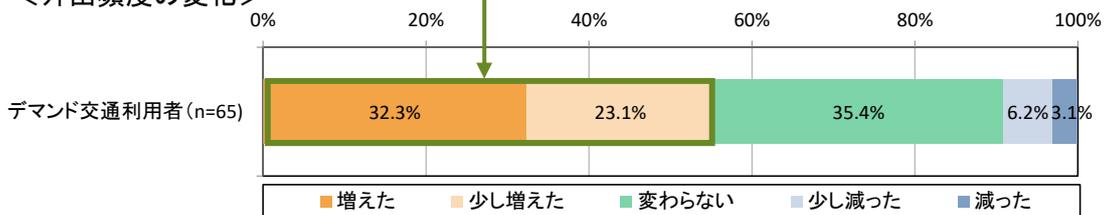
#### (1) カッピーのりあい号の運行開始に伴う外出頻度の変化

- カッピーのりあい号の導入による外出頻度の変化をたずねたところ、過去に町民バスを利用していた人の 55.4%が、町営バス運行時（2016 年 12 月以前）よりも外出頻度が「増えた」「少し増えた」と回答しています。

#### <町民バス利用の有無の変化>



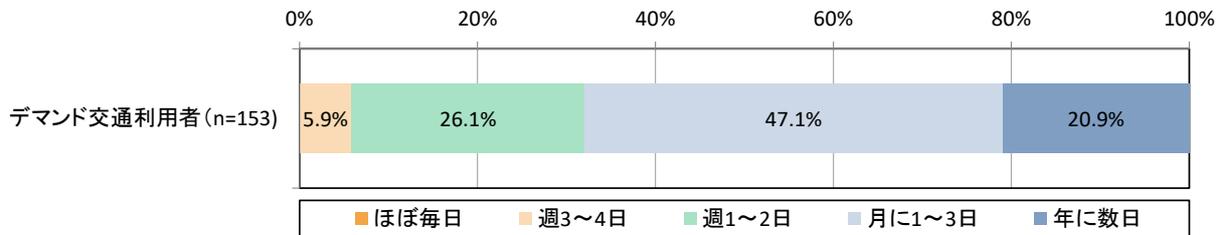
#### <外出頻度の変化>



図表 43 町営バスの利用の有無と外出頻度の変化【デマンド利用者の回答のみ抜粋】

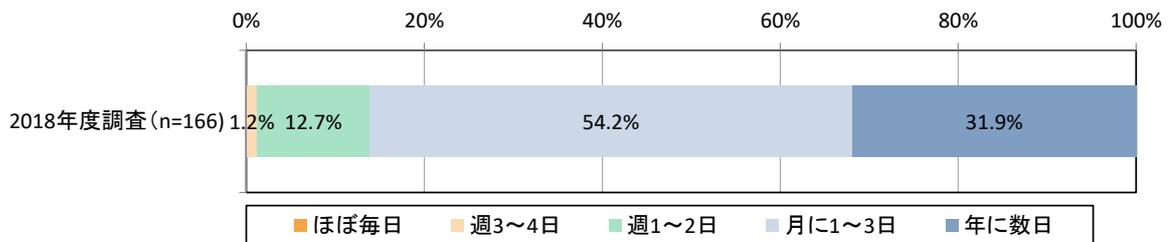
## (2) コピーのりあい号の利用頻度

- アンケート調査によると、コピーのりあい号の利用頻度は「月に1～3日」が最も多く、次いで「週1～2日」が多くなっています。
- 実際の利用実績データを見ると、平均値は4.95回/月、中央値は3.68回/月となっています。
- SAVS導入前の2018年に実施した住民アンケート調査と比較すると、「週3～4日」や「週1～2日」の割合が上昇し、「月に1～2日」「年に数日」の割合が低下しており、利用頻度は全体として増加しています。



図表 44 デマンド交通の利用頻度【デマンド利用者の回答のみ抜粋】

### (2018年の住民アンケート調査における利用頻度)

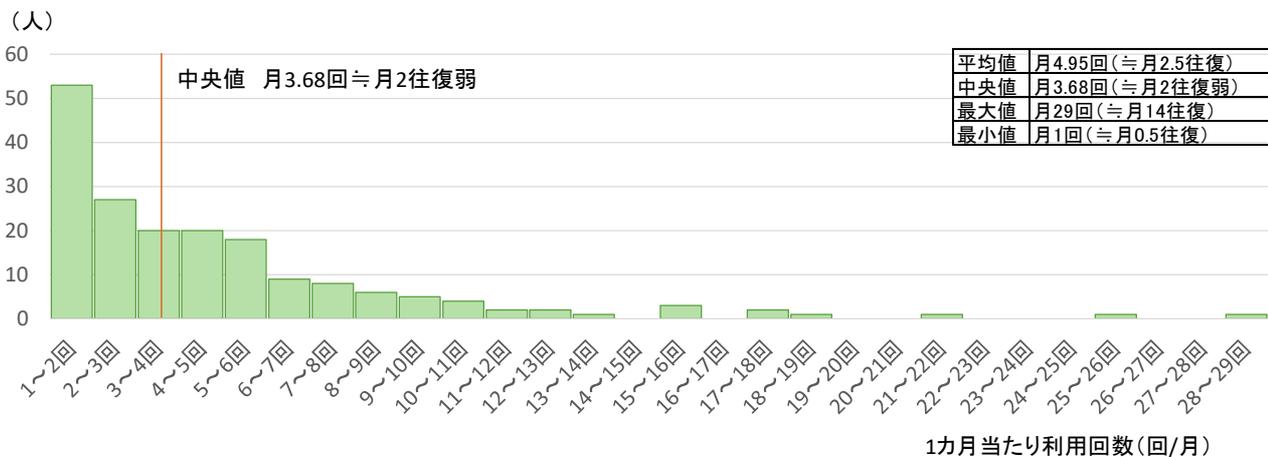


図表 45 デマンド交通の利用頻度【2018年度調査・デマンド利用者の回答のみ抜粋】

資料: 2018年度住民アンケート調査

※久米南町在住の全世帯20歳以上の町民全員に実施、コピーのりあい号利用者の回答のみ抜粋

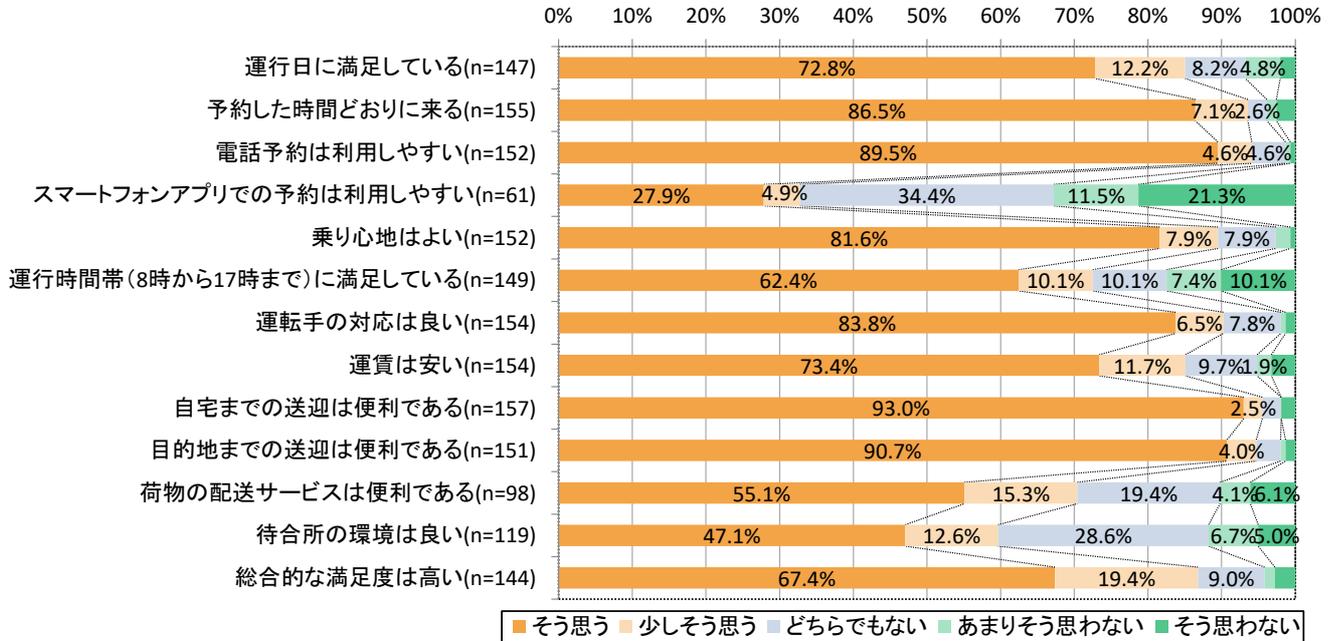
### (利用実績に基づく一人当たり月間利用回数)



図表 46 利用実績に基づく一人当たり月間利用回数とその平均値・中央値

### (3) カッピーのりあい号の利用者の満足度

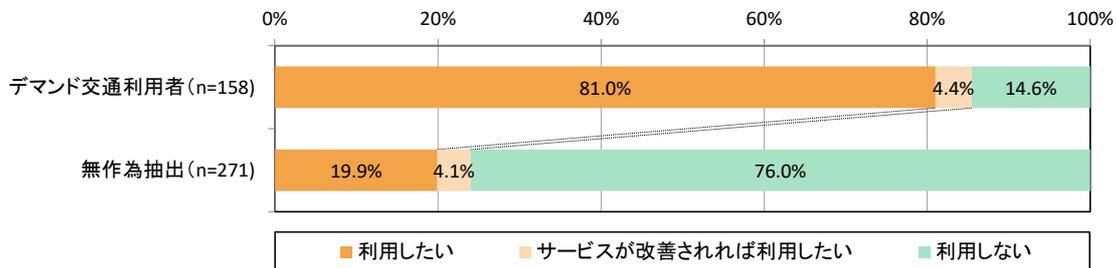
- 「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が他に比べて高い項目は、「スマートフォンアプリでの予約は利用しやすい」「運行時間帯（8時から17時まで）に満足している」となっています。
- 「そう思う」「少しそう思う」の割合が他に比べて低い項目は、「スマートフォンアプリでの予約は利用しやすい」「待合所の環境が良い」「荷物の配送サービスは便利である」となっています。



図表 47 デマンド交通の満足度【デマンド利用者の回答のみ抜粋】

### (4) 土日祝日の利用意向

- カッピーのりあい号利用者の 85.4%と、24.0%の住民が、土日祝日にカッピーのりあい号を利用したいと回答しています。
- 住民に比べてカッピーのりあい号利用者の利用意向が高く、利用者の更なる利便性向上につながると思われます。

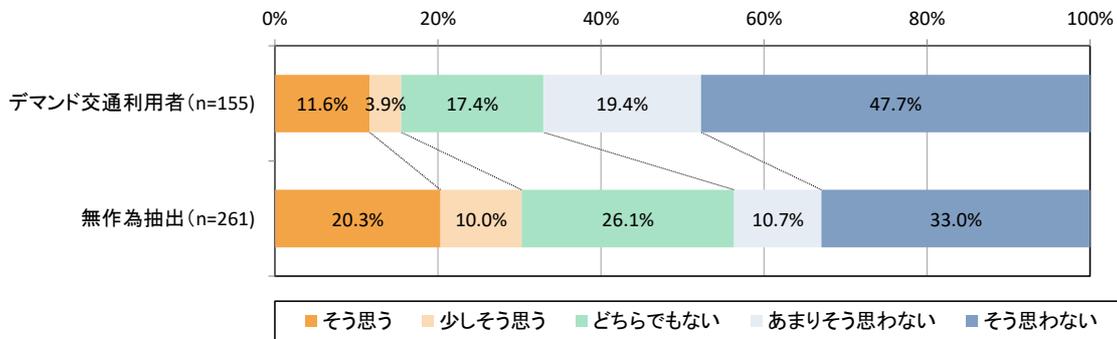


具体的な改善内容
町内だけでなく町外にも利用できる
福渡病院まで行けば
時間延長
介護補助や車イスで乗れる様にしてほしい
足が悪いのもう少しやさしいと嬉しいです。
介護タクシー希望

図表 48 土日祝日の利用意向

## (5) キャッシュレス決済の利用意向

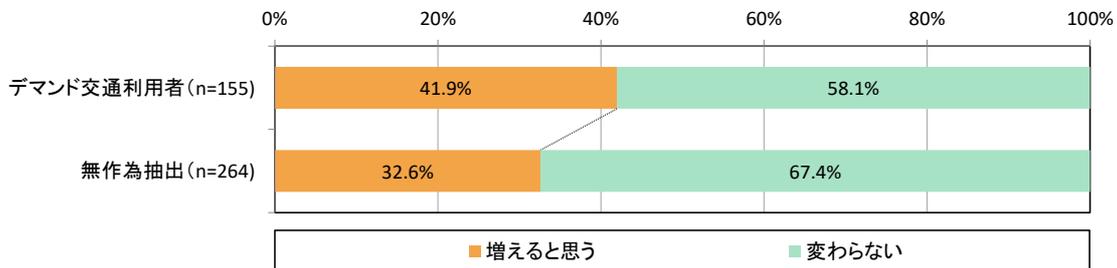
- カッピーのりあい号利用者の 15.5%、住民の 30.3%がキャッシュレス決済を導入した場合に利用回数が「増えると思う」と回答しています。
- キャッシュレス決済は、カッピーのりあい号利用者比べて住民の利用意向が高く、利用者の裾野を広げることにつながると考えられます。



図表 49 キャッシュレス決済の利用意向

## (6) JR 亀甲駅まで運行範囲を拡大した場合の利用意向

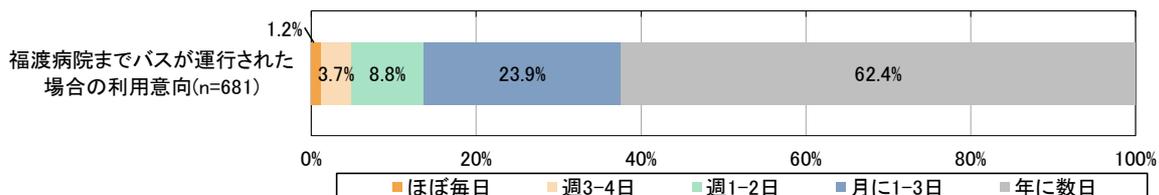
- カッピーのりあい号利用者の 41.9%、住民の 32.6%が、運行範囲を美咲町の JR 亀甲駅まで運行範囲を拡大して美咲町営バスに乗り継ぐことができるようにした場合に、利用回数が「増えると思う」と回答しています。



図表 50 津山方面へのバスと接続した場合の利用意向

## (7) 福渡病院までバスを運行した場合の利用意向(2018年調査)

- 2018年に実施した住民アンケート調査によると、久米南町から福渡病院までバスを運行した場合の利用意向をたずねたところ、福渡病院へ普段通院する人の 62.4%が「年に数回」、23.9%が、「月に1~3日」利用すると回答しています。



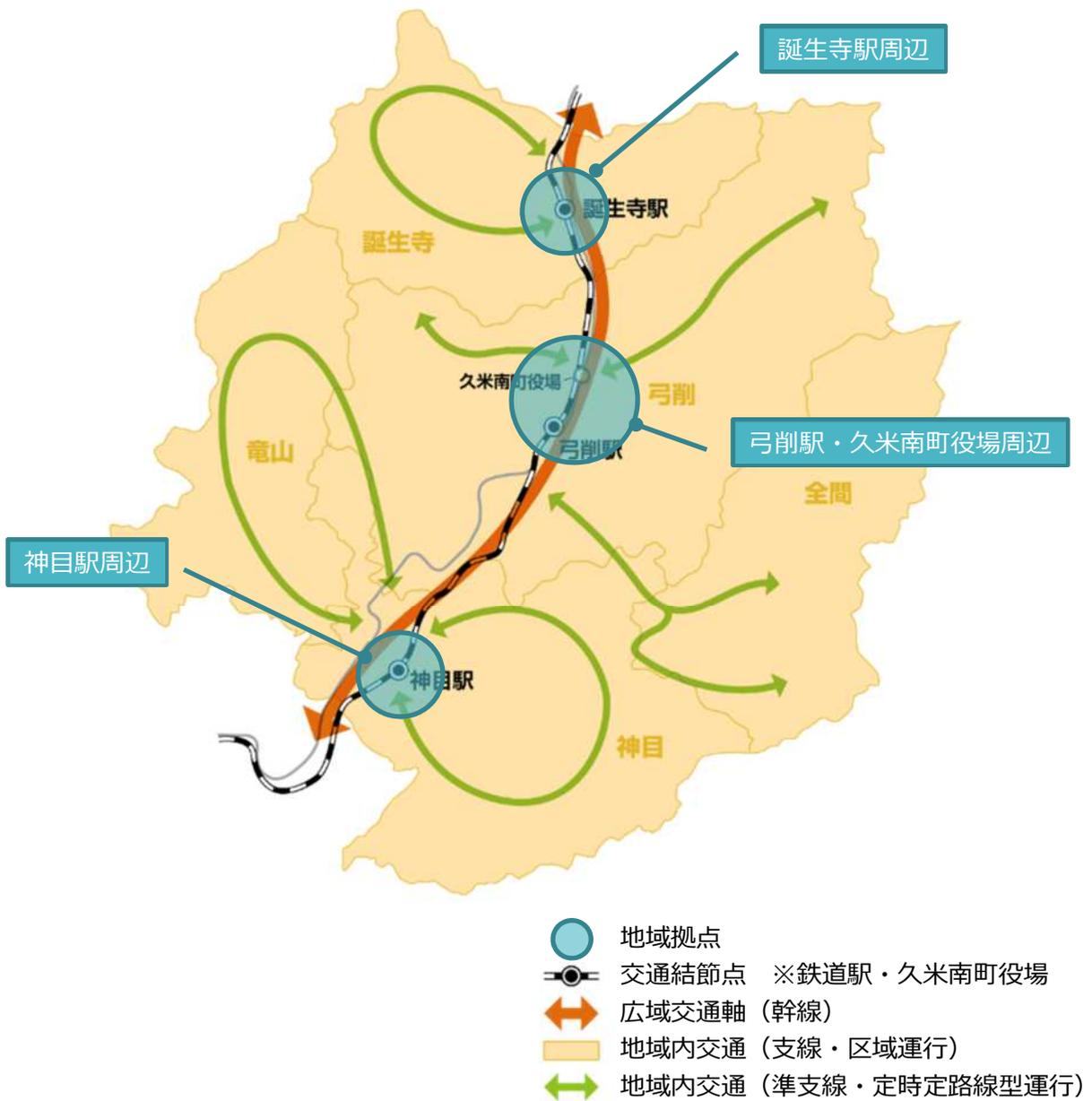
図表 51 通勤と買い物の目的地

# 5. 地域旅客運送サービスの役割と課題整理

## 1 地域旅客運送サービスの役割

### (1) 計画が目指すべき将来像

サービスの供給状況や移動の実態、利用者の意向等を踏まえ、計画が目指すべき地域旅客運送サービスの将来像を次の通り設定します。



図表 52 公共交通の将来イメージ

## (2) 公共交通が果たすべき役割

計画が目指すべき将来像を実現するために、本町における公共交通が果たすべき役割を次のとおり定義します。

サービスの名称	分類	区域	事業許可区分	運行態様	役割	備考
鉄道 (JR 津山線)	幹線				久米南町と他地域との間を結ぶ広域的・基幹的な公共交通	
カッピのりあい号	支線	久米南町内	4条乗合	区域運行	幹線と接続して町内を運行する公共交通	地域公共交通確保維持事業の「地域内フィーダー系統補助」により運行維持・確保を図る
混乗型スクールバス	準支線				支線とともに町内の移動をカバーする公共交通	
タクシー(乗用) 空港乗合タクシー					幹線と支線を補助する公共交通	

図表 53 公共交通が果たすべき役割

なお、久米南町社会福祉協議会が提供する送迎サービスや介護タクシーといった利用者が限定されるサービスは、上記の公共交通を補完する移動手段と位置付け、本計画で定める事業の対象とはせず、連携を図ることとします。

サービスの名称	役割	備考
久米南町社会福祉協議会の送迎サービス	公共交通を補完する移動手段	「生きがい支援通所事業」の利用者に限定した移動手段
つくし介護タクシー	公共交通を補完する移動手段	要介護者等に限定した移動手段

図表 54 公共交通を補完する移動手段

## 2 地域旅客運送サービスの課題整理

ここまでの内容を踏まえ、地域旅客運送サービスの課題を次のとおり整理します。

### 課題1 住民や来訪者の誰もが町内を自由に移動できるサービスの提供

- カッピーのりあい号は、AI配車プラットフォーム（SAVS）の導入により、平日の日中であれば「誰でも」「いつでも」利用することができるようになりましたが、運行日や時間帯等の利便性と、運賃（キャッシュレス決済・定額制の乗り放題）や乗り心地等のサービス向上を図り、利用者を増やしていくことが必要です。
- タクシー（乗用）や混乗型スクールバス等との役割分担を図りつつ、カッピーのりあい号を早朝や夜間にも利用できるようにすることが求められています。
- コロナ禍による新しい生活様式に対応した、公共交通の付加価値を高めるサービス（商品宅配サービス等）の拡充により、利用のきっかけをつくる必要があります。

### 課題2 幹線と支線との連携による町外への移動手段の確保

- 住民やカッピーのりあい号利用者へのアンケート調査結果によると、岡山市内や津山市内の医療機関や商業施設等への移動利便性の向上を望む声があります。
- 「町外への通院・買い物のために、少ない乗り換え回数で移動できるサービスを少なくとも週〇日確保する」等の身の丈に合った基準を定めた上で、既存の交通資源を活用しつつ、効率的な方法で町外への移動手段を確保することが必要です。

### 課題3 適切な公的負担による公共交通の維持・存続

- カッピーのりあい号の運行開始により、公共交通を維持・確保するための町の公的負担額が運行開始前に比べて高い水準で固定化しています。
- サービスの効率化や新たな収益源の確保によって運行事業者の収支率の改善を図り、公的負担額の増加を抑制することが必要です。
- 町内の移動及び幹線への接続に重要な役割を果たすカッピーのりあい号の運行を維持するため、地域公共交通確保維持事業を活用し、町の公的負担額を抑制することが必要です。

### 課題4 地域拠点の活性化と機能強化

- 庁舎等複合施設周辺エリア等における交流拠点づくりや観光スポットへのアクセス改善といった「まちづくりや観光振興と連携した取組」を推進することで、町民の外出機会の増加や地域拠点における賑わいの創出を図ることが必要です。
- 「ひとが集う」まちづくりを推進するため、交通結節点や移動の目的地となる医療機関や店舗等における公共交通の利用環境の整備が必要です。

### 課題5 協働による事業推進体制の構築

- 既存の公共交通だけでは対応できない移動ニーズに対し、町内及び隣接市町の交通資源の活用や宅配貨物事業者等との連携等により確保策を検討する必要があります。
- 加速化する社会環境の変化や技術革新に対応できるよう、事業の実施状況や目標の達成状況をデータに基づき毎年検証し、改善を図っていくサイクルを確実に回すマネジメントの仕組みを構築することが必要です。

## 6. 計画の基本的な方針と目標

### 1 課題への対応にあたっての基本的な方針

第5次久米南町振興計画（後期基本計画）のキャッチフレーズと6つの基本目標のほか、関連計画及び網形成計画の基本方針等を踏まえ、本計画の基本的な方針を次のとおり定めます。

公共交通で「ひと」と「まち」をつなぎ、持続可能な地域を形成する

### 2 計画の目標

計画の基本的な方針である『公共交通で「ひと」と「まち」をつなぎ、持続可能な地域を形成する』とは、だれもが安心・安全・快適に、行きたいところに行くことができる効率的な交通サービスをつくり、将来にわたって守り、育てていくことを表します。

このことを踏まえ、本計画においては下図の3つの目標を掲げ、具体的な事業に取り組むこととします。

#### 目標1 町内にいる誰もが日常的に利用できる公共交通

（公共交通そのものの品質を高める取組）

事業① カッピーのりあい号の  
利便性向上

事業② 近隣市町との間を結ぶ  
公共交通サービスの充実

数値指標

カッピーのりあい号の利用者数

近隣市町との間の移動に利用できる  
公共交通機関の種類

#### 目標2 まちの魅力を高め、「ひと」がいきいきと交流できる公共交通

（品質を高めた公共交通の利用促進を図る取組）

事業① 公共交通の利活用による  
「ひと」や「モノ」の交流促進

事業② 「ひと」が集う  
交流拠点づくり

数値指標

公共交通を利活用して「ひと」に  
会いに行ったり「モノ」を届けた  
りする回数

カッピーのりあい号の主要乗降  
ポイントにおける利用者数

#### 目標3 協働により守り、育て、未来につなげる公共交通

（便利になった公共交通を維持する取組）

事業① カッピーのりあい号の  
運行効率化

事業② 公共交通を利用する  
きっかけづくり

数値指標

カッピーのりあい号の収支率と、  
運行に係る町の公的負担の額

公共交通に関する情報の  
発信手段

# 7. 目標達成のための施策・事業

## 目標1

## 町内にいる誰もが日常的に利用できる公共交通

### 事業① カップーのりあい号の利便性向上

事業内容	運行日と運行時間帯の拡大、決済手段の多様化、運賃体系の見直し、遅れ時分発生状況のモニタリング等により、カップーのりあい号の利便性を高めます。
事業主体	久米南町、交通事業者
実施時期	2021年度から運行日と運行時間帯を拡大するとともに、遅れ時分のモニタリングを開始 2021年度からキャッシュレス決済の導入や運賃制度に関する検討を開始

#### 具体的な取組（運行日と運行時間帯の拡大）

- 2020年度の利用実績や土日祝日の試験運行結果等をもとに、運行時間帯を土日祝日や早朝・夕方以降に拡大します。
- 毎月の利用実績や利用者アンケート調査等により、利用実態や住民の意向についての効果測定を行うとともに改善要望等を把握し、必要に応じてサービス内容の見直しを行います。

#### 具体的な取組（その他）

- QRコードや交通系ICカード等によるキャッシュレス決済の導入について、低コストで整備可能な方策を検討します。
- 定額制の乗り放題や、複数人が乗り合わせることで運賃が安価になる仕組み等、利用者の増加と運行事業者の収益拡大につながる運賃体系を検討します。
- 旅客需要や利用者からの意見等を踏まえ、乗り降りのしやすい適切な大きさの車両に更新します。
- 毎日の運行記録データをもとに、乗車予定時刻に対する遅れの発生状況を常時計測するとともに、乗務員の接遇に関する利用者へのアンケート調査を行い、遅れの発生状況や運転の仕方、接客対応等のサービスの質の更なる向上を図ります。

#### 数値指標：カップーのりあい号の利用者数

計測方法	基準値 (2020年12月時点)	目標値 (2025年12月時点)
毎月の「月間レポート」をもとに連続する12か月間の利用者数を集計	約11,500人	12,000人以上 (16歳以上の町民が年3回以上利用)

## 事業② 近隣市町との間を結ぶ公共交通サービスの充実

事業内容	町中心部と近隣市町の医療機関等とを直接結ぶ交通手段について、既存の交通資源の活用により確保・充実を図ります。	
事業主体	久米南町、交通事業者	
実施時期	2021年度	町外への移動手段の確保方法を検討し試験運行計画を作成
	2022年度	運行計画に基づく試験運行
	2023年度以降	本格運行へ移行
	2021年度～	町外の医療機関等へタクシー（乗用）で移動する際の運賃設定について検討

### 具体的な取組

- 町中心部から福渡病院等の町外の医療機関や美咲町中心部へ直接移動することのできる方策を検討し、運行計画（案）を作成します。  
 検討する方策： コピーのりあい号の岡山市内、美咲町内への乗り入れ  
 御津・建部コミュニティバス、美咲町営バスの久米南町内への乗り入れ  
 空港乗合タクシーの区間利用（福渡病院～久米南町役場～美咲町中心部）  
 タクシー（乗用）の活用
- 運行計画（案）に基づき、地域公共交通議での承認や必要な手続きを経て試験運行を行います。
- 運行計画について、住民説明会の開催や町の公式ウェブサイト等を通じて周知を図ります。
- 「乗合が成立しているか」「町の負担（運行経費）は適切であるか」等について検証し、将来的に持続可能である場合は、本格運行に移行します。
- 本格運行への移行後、毎月の利用実績や利用者アンケート調査等により、利用実態や住民の意向についての効果測定を行うとともに改善要望等を把握し、必要に応じてサービス内容の見直しを行います。
- あわせて、町外の医療機関等へタクシー（乗用）で移動する場合の事前確定運賃や相乗り制度の導入や、夜間における交通手段確保策等を検討します。  
 検討する移動先：福渡病院、国立病院等

### 数値指標：近隣市町との間の移動に利用できる公共交通機関の種類

計測方法	基準値 (2020年12月時点)	目標値 (2025年12月時点)
毎年1月末時点に利用できる公共交通機関の数をカウント	JR津山線、タクシー（乗用）、空港乗合タクシーの3種類	岡山方面、津山方面それぞれ4種類以上

事業① 公共交通の利活用による「ひと」や「モノ」の交流促進

事業内容	カッピーのりあい号等の交通資源を「ひと」だけでなく「モノ」の輸送にも活用し、商品宅配サービスや個人宅間の荷物配送サービスの充実を図ることで、「ひと」や「モノ」の移動を支えるいきいきとした生活を実現します。
事業主体	久米南町、交通事業者、久米南町社会福祉協議会、町内の飲食店・商店等
実施時期	2021年度より検討・調整を行い、協議が調った取組から随時実施

具体的な取組

- 老人福祉センターでの趣味活動や、町内各所で実施されているサロンや通いの場といった余暇活動で外出する際の移動手段として、社会福祉協議会と連携した呼びかけ等によりカッピーのりあい号の利活用を推進します。
- カッピーのりあい号を活用した野菜等の集出荷や宅配貨物の集荷・配達サービスの導入について、関係事業者との協議を進めます。
- カッピーのりあい号による商品宅配サービスについて、対象店舗や取扱商品の拡大に向けた町内事業者への周知を図ります。
- カッピーのりあい号による個人宅間の荷物配送サービス（おすそわけサービス）について、利用拡大にむけた住民への周知を図ります。
- 一度に複数の商品を注文する場合等における商品宅配サービス利用料の低廉化方策を検討します。
- 「モノ」の輸送に関するサービス拡充に伴い、「旅客及び貨物輸送業務の負担が過剰になっていないか」「運転手不足が生じていないか」等について、運行事業者に対して随時聞き取り調査を行い、検証します。

数値指標：公共交通を利活用して「ひと」に会いに行ったり「モノ」を届けたりする回数

計測方法	基準値 (2020年12月時点)	目標値 (2025年12月時点)
毎月の「月間レポート」をもとに連続する12か月間における「通院」「買い物」「自宅」以外の利用者数（トリップ数）を集計	約3,000トリップ	3,000トリップ以上
毎月の「月間レポート」をもとに連続する12か月間における荷物の配達個数（利用座席数）を集計	約280個	280個以上

## 事業② 「ひと」が集う交流拠点づくり

事業内容	町内の公共施設、医療機関、薬局及び店舗等と連携して、店内や施設の中で到着を待ちながら利用者が集うことのできる待合スペースを確保したり、地域との協働によりそれらの維持管理を行ったりすることで、公共交通の利用促進と地域のにぎわい創出を図り、高齢者の外出機会のさらなる増大を目指します。
事業主体	久米南町、交通事業者、町内の飲食店・商店及び医療機関等
実施時期	2021年度より適宜実施

### 具体的な取組

- 新たに整備する庁舎等複合施設の建物内や、医療機関の待合室、店舗内、公民館や図書館のロビー等に、コピーのりあい号の利用方法や鉄道の時刻表等を掲出するとともに、必要な場所には椅子等を整備します。
- 携帯電話を持たない高齢者等が外出先からコピーのりあい号の予約ができるよう、上記の場所における固定電話やスマートフォン等の使用許可を取りつけます。
- 公共交通による移動の目的地となる施設等と連携して、公共交通を利用した外出を促進するための取組（買い物時のポイント付与、診察の予約と連動したコピーのりあい号の予約等）を推進します。
- 地域と連携して、駅の待合室やコピーのりあい号の主要乗降ポイント等の清掃や維持管理を行います。

### 数値指標：コピーのりあい号の主要乗降ポイントにおける利用者数

計測方法	基準値 (2020年12月時点)	目標値 (2025年12月時点)
毎月の「月間レポート」をもとに連続する12か月間における主要乗降ポイント別の乗降人数を集計 集計対象：ハッピーマート弓削店、ザグザグ久米南店、キシ薬局弓削店、近藤医院、河合医院、小山歯科医院の6か所 (買い物と通院目的のそれぞれ上位3位)	約6,000人	6,000人以上
西日本旅客鉄道(株)岡山支社からデータ提供を受けて、町内の鉄道3駅における1日当たり乗車人員を集計	312人 (2018年度)	312人以上 (2024年度)

事業① カッピーのりあい号の運行効率化

事業内容	カッピーのりあい号の持続的な運行を確保するため、利用動向や収支状況及び公的負担の額を定期的にモニタリングし、運行の効率化を図ります。
事業主体	久米南町、交通事業者
実施時期	2021年度より適宜実施

具体的な取組

- カッピーのりあい号の利用実績をもとに、OD（乗車・降車場所の組み合わせ）、乗車距離、乗合率、旅客・貨物の構成比等の変化を分析し、検証結果をもとに必要に応じて SAVS のパラメータの見直しを行います。
- カッピーのりあい号の収支率や公的負担の額を毎年検証し、効率的な予約受付体制や車両台数・運用体制について、運行事業者とともに検討します。
- 効率的な運行を支える乗務員の安定的な確保のため、近隣市町と連携した運転手の確保策（2種免許取得者及び雇用者への取得費用の補助等）に取り組みます。
- 町の公的負担額を抑制し、運行を維持・存続するため地域公共交通確保維持事業の「地域内フィーダー系統補助」を活用します。

数値指標：カッピーのりあい号の収支率と、運行に係る町の公的負担の額

計測方法	基準値 (2020年12月時点)	目標値 (2025年12月時点)
運行事業者の輸送実績報告書をもとに、連続する12か月間における収支率を把握	7%	7%以上
毎月の「月間レポート」と、運行事業者の輸送実績報告書をもとに、連続する12か月間における利用者1人あたりの町の公的負担額（交付税措置前の額）を集計	4,400円/人	4,400円/人未満

## 事業② 公共交通を利用するきっかけづくり

事業内容	町外からの来訪者（観光客等）と地域住民に対して、公共交通の利用につながる情報提供の充実を図ります。
事業主体	久米南町、交通事業者、観光協会、町内の飲食店・商店及び医療機関、地域住民等
実施時期	2021年度より適宜実施

### 具体的な取組

- 町外からの来訪者が町内の公共交通やカッピーのりあい号の利用方法に関する情報を容易に入手できるよう、町の公式ウェブサイト等を通じた周知を図るとともに、来訪者の目的地となる施設や交通事業者との連携による情報発信を強化します。
- 住民を対象としたカッピーのりあい号の利用案内を作成・配布します。
- 地域と連携して、住民に対するカッピーのりあい号の利用方法やスマートフォンによる予約方法に関する出前講座を開催します。
- 「おかやま愛カード」所有者に対するカッピーのりあい号の運賃割引制度の周知等による、運転免許返納に向けた働きかけを推進します。
- 公共交通の利用実態や本計画に基づく事業の実施状況等について、「広報くめなん」や町の公式ウェブサイト等を通じた情報提供を行います。

### 数値指標：公共交通に関する情報の発信手段

計測方法	基準値 (2020年12月時点)	目標値 (2025年12月時点)
連続する12か月間において、交通事業者や地域と連携して公共交通に関する情報を発信したメディアの種類	1種類 (利用案内チラシの配布)	毎年3種類以上 (主要乗降ポイントへのポスター掲出、出前講座の開催等)

## 8. 計画の達成状況の評価

### 1 計画の推進体制

計画の推進は、久米南町地域公共交通会議が行います。

目標の達成状況と事業の実施状況の評価結果については、毎年2月頃に開催する久米南町地域公共交通会議において報告します。

### 2 目標、事業、数値指標及び目標値の一覧

目標、事業、数値指標及び目標値の一覧は次のとおりです。目標値は、計画の変更にあわせて必要な場合には見直しを行います。

目標	事業	数値指標	基準値	目標値
目標1 町内にいる誰もが日常的に利用できる公共交通	事業① カッピーのりあい号の利便性向上	カッピーのりあい号の利用者数	約11,500人	12,000人以上
	事業② 近隣市町との間を結ぶ公共交通サービスの充実	近隣市町との間の移動に利用できる公共交通機関の種類	3種類	4種類以上
目標2 まちの魅力を高め、「ひと」がいきいきと交流できる公共交通	事業① 公共交通の利活用による「ひと」や「モノ」の交流促進	カッピーのりあい号の「通院」「買い物」「自宅」以外のトリップ数	約3,000トリップ	3,000トリップ以上
		カッピーのりあい号による荷物の配達回数	約280個	280個以上
	事業② 「ひと」が集う交流拠点づくり	カッピーのりあい号の主要乗降ポイントにおける利用者数	約6,000人	6,000人以上
		町内の鉄道3駅における1日当たり乗車人員の合計	312人	312人以上
目標3 協働により守り、育て、未来につなげる公共交通	事業① カッピーのりあい号の運行効率化	カッピーのりあい号の収支率	7%	7%以上
		カッピーのりあい号に係る町の公的負担の額	4,400円/人	4,400円/人以上
	事業② 公共交通を利用するきっかけづくり	公共交通に関する情報の発信手段	1種類	3種類以上

### 3 計画の進捗管理と評価のスケジュール

#### (1) 5年間の進捗管理と評価のスケジュール

目標の達成状況及び事業の実施状況については、国の生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）の事業期間にあわせて、10月～翌年9月の1年間を期間として、毎年2月頃に開催する地域公共交通会議において検証します。検証結果は次年度以降の事業に速やかに反映し、必要に応じて事業内容等の見直しを行います。

計画の最終年度（2025年度）には最終評価を行い、次期計画の策定に向けた検討を行います。

公共交通を取り巻く社会環境の変化やモニタリングの結果を踏まえ、必要と認めるときには計画を変更します。

	2021年度 (1年目)		2022年度 (2年目)		2023年度 (3年目)	2025年度 (5年目)		2026年度
	上期	下期	上期	下期	上期	上期	下期	上期
事業実施	→		→		→	→		→
目標達成 状況の評価		→		→			→	
事業実施 状況の評価		→		→	→		→	
改善・反映			→		→	→		→
次期計画に 向けた検討						→		

#### (2) 毎年度の進捗管理と評価のスケジュール

毎年7月～11月において次年度の事業内容を検討し、予算措置が必要な事業については年末に予算要求を行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業の実施	<p>Do：事業の実施</p> <p>Act：改善・反映</p> <p>Plan：次年度実施事業の検討</p> <p>Check：目標達成状況と事業実施状況の評価</p>											
地域公共交通会議			●					●			●	
			確保維持改善計画提出					次年度予算要求			事業評価（国）提出	

## 4 クロスセクター効果の計測

### (1) クロスセクター効果とは

カッピーのりあい号は、運賃収入だけでは運行にかかる経費をまかなうことができないため、町が運行経費の一部を負担しています。いま、もし仮にカッピーのりあい号が廃止されると、高齢者をはじめとする住民や町外からの来訪者等の移動手段を確保するため、通院や買い物のためのタクシー運賃を補助する等、医療や商業といった様々な分野において、移動手段確保のための施策を実施することが必要になります。

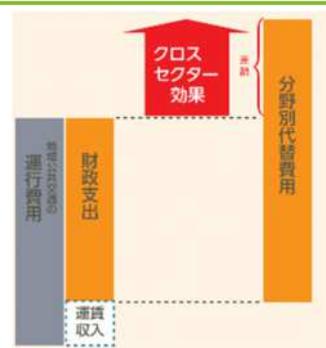
そこで、公共交通を廃止したときに追加的に必要となる行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出とを比較することで、カッピーのりあい号に対する公的負担（支援）の必要性を明らかにするとともに、運行による多面的な効果を計測します。この効果のことを、地域公共交通の「クロスセクター効果」といいます。

#### 地域公共交通のクロスセクター効果

補助金などの支援を受けて運行している公共交通が廃止されたときに、それまで公共交通を利用していた人の移動手段を確保するために追加的に必要となる多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行政が負担している財政支出とを比較することにより把握できる、公共交通の多面的な効果のこと。

図表 55 地域公共交通のクロスセクター効果のイメージ

資料：「クロスセクター効果『地域公共交通 赤字＝廃止でいいの?』」  
(国土交通省近畿運輸局・2018年3月)



### (2) クロスセクター効果の算出結果

カッピーのりあい号の運行に係る町の公的負担は 2019 年度で 3,024 万円であるのに対し、カッピーのりあい号を廃止した場合の追加代替費用は年間 3,590 万円が見込まれます。

したがって、クロスセクター効果は 566 万円のプラスとなり、カッピーのりあい号の運行に係る公的負担は「交通分野における単なる赤字補填」ではなく「地域を支える効果的な支出」であり、行政分野の支出抑制に寄与していると考えられます。

また、2019 年度の公的負担額は特別交付税措置前の額であり、カッピーのりあい号は公的負担額の約 8 割が特別交付税措置を受けることができるのに対し、計上している追加代替費用ではそういった措置の対象外となるものも多くあります。

加えて、算出している追加代替費用は必要となる最低限のサービス水準（例えば医療分野では町内で 1 台の病院送迎貸切バスを運行するもの）として算出しているため、「カッピーのりあい号の運行時間内であれば、いつでも好きなときに、町内のどこへでも移動できる」という現在のサービス水準や利便性を担保するためには、さらに大きな公的負担額が必要になります。

項目		金額
カッピーのりあい号の運行にかかる公的負担の額（財政支出） …A		3,024 万円
分野別代替費用	医療	800 万円
	商業	480 万円
	交通安全	70 万円
	観光	170 万円
	福祉	1,770 万円
	財政	300 万円
分野別代替費用の合計 …B		3,590 万円
クロスセクター効果 (B-A)		566 万円

図表 56 久米南町における地域公共交通のクロスセクター効果の算出結果

分野	内容	費用	
医療	<b>病院送迎貸切バスの運行</b> 現在カッピーのりあい号で通院している人を貸切バス 1 台で送迎するとして計上	費用も小さい 費用を採用	<b>800 万円</b>
	<b>通院のためのタクシー券配布</b> 現在カッピーのりあい号で通院している人を対象にタクシー券を配布するとして計上		1,270 万円
	<b>医師による往診</b> 現在カッピーのりあい号で通院している人を対象に医師が往診するとして計上		2,790 万円
商業	<b>買物バスの運行</b> 現在カッピーのりあい号で買物している人を貸切バス 1 台で送迎するとして計上	費用も小さい 費用を採用	800 万円
	<b>買物のためのタクシー券配布</b> 現在カッピーのりあい号で買物している人を対象にタクシー券を配布するとして計上		<b>480 万円</b>
	<b>移動販売の実施</b> 集落の拠点で移動販売を実施するとして計上		750 万円
交通安全	<b>車への安全運転機能付与支援費用</b> カッピーのりあい号利用者のうち自家用車保有者を対象に、車への安全運転機能付与支援費用を助成するとして計上		<b>40 万円</b>
	<b>安全運転講習会開催に係る費用</b> カッピーのりあい号利用者のうち運転免許保有者を対象に、安全運転講習会を実施した場合として計上		<b>30 万円</b>
観光	<b>観光地送迎貸切バスの運行</b> 現在カッピーのりあい号で観光地に行っている人を貸切バス 1 台で送迎するとして計上	どちらか小さい 費用を採用	570 万円
	<b>観光地送迎のためのタクシー券配布</b> 現在カッピーのりあい号で観光地に行っている人を対象にタクシー券を配布するとして計上		<b>170 万円</b>
福祉	<b>タクシー券配布（通院・買物・観光以外の自由目的での利用）</b> 現在カッピーのりあい号で福祉施設や行政施設等へ行っている人を対象にタクシー券を配布するとして計上		<b>1,770 万円</b>
財政	<b>土地の価値低下等による税収減少</b> 町内の地価が下落することによる税収減（土地の固定資産税及び都市計画税の減少）を想定して計上		<b>300 万円</b>
分野別代替費用の合計			<b>3,590 万円</b>

図表 57 カッピーのりあい号の運行を廃止した場合の分野別代替費用の内訳

### (3) クロスセクター効果の定期的な計測

カッピーのりあい号の利便性が高まり、高齢者の外出機会が増えることで、高齢者の健康増進や就労機会の増加が図られ、医療費や社会保障費が減少して社会全体としての費用負担が下がる可能性もあります。

計画の目標達成状況や事業実施状況の評価（毎年 2 月）にあわせて、この「クロスセクター効果」を毎年 1 回定期的に計測することで、カッピーのりあい号への支援の意義を関係者間で共有し、交通分野以外の他分野と連携しながら、より使いやすい公共交通の実現に取り組んでいきます。

(参考) 分野別代替費用の算出条件

分野	内容	算出条件
医療	病院送迎貸切バスの運行	8:00~13:00の間、小型バスを1台、カッピのりあい号と同様の運行日数分貸切を想定(車両購入費等は含めない)
	通院のためのタクシー券配布	一人片道2,400~3,000円(病院までの平均的な距離から推定)を往復分補助 現在カッピのりあい号で通院している人(8人/日)を対象にタクシー券を配布する想定
	医師による往診	現在カッピのりあい号で通院している人(8人/日)を、医師及び看護師(1チーム)が患者1人につき30分往診すると仮定
商業	買物バスの運行	8:00~13:00の間、小型バスを1台、カッピのりあい号と同様の運行日数分貸切を想定(車両購入費等は含めない)
	買物のためのタクシー券配布	通院と同様に算出、現在カッピのりあい号で買物している人(6人/日)の利用を想定
	移動販売の実施	町内27箇所で、各箇所週1回、1箇所につき1時間(1日5時間、週5日稼働)、移動販売実施を想定
交通安全	車への安全運転機能付与支援費用	1名当たり2万円助成 カッピのりあい号を利用している自家用車保有者(アンケート調査結果より人数推定)の約半数が車への安全運転機能付与支援費用助成を受けると想定
	安全運転講習会開催に係る費用	カッピのりあい号利用者のうち運転免許保有者を対象に、安全運転講習会を実施 認知機能検査、高齢者講習費用を助成(講習会開催に係る出張料金は含まない)
観光	観光地送迎貸切バスの運行	1日3時間、小型バスを1台、カッピのりあい号と同様の運行日数分貸切を想定(車両購入費等は含めない)
	観光地送迎のためのタクシー券配布	通院と同様に算出、現在カッピのりあい号で観光地に行っている人(0.7人/日)の利用を想定
福祉	タクシー券配布(通院・買物・観光以外の自由目的での利用)	通院と同様に算出、現在カッピのりあい号を通院・買物・観光以外の自由目的で利用している人(11人/日)の利用を想定
財政	土地の価値低下等による税収減少	町内全域、1%町内の地価が低下(西村ら <sup>※</sup> と同様、鉄道廃止の下落率を援用)することによる税の減収を想定

図表 58 分野別代替費用の算出条件

※西村 和記・東徹・土井 勉・喜多 秀行「クロスセクター効果で測る地域公共交通の定量的な価値」  
土木学会論文集 D3(土木計画学) Vol.75 No. 5 土木計画学研究・論文集第 36 巻(2019)



## 久米南町地域公共交通計画

---

発行 久米南町地域公共交通会議

編集 久米南町総務企画課

〒709-3614 岡山県久米郡久米南町下弓削 502-1

電話 086-728-2111